

令和6年度 高知県立高知北高等学校通信制

生徒必携

— 学習計画表・学習のしおり —

時 間	スクーリングⅠ		スクーリングⅡ		
	科 目	教 室	科 目	教 室	
1 9:00 } 9:50	数保学Ⅰ 古健Ⅰ 倫典探Ⅰ 生物基礎		言歴語文化 数史総合 保史健A 化簿学健2 簿記		
2 10:00 } 10:50	英語コミュニケーションⅠ 化音学基礎Ⅰ 美書ビジネス基礎Ⅰ		科地学と人間生 音美書フマドケテザイン マドケテザイン		
3 11:00 } 11:50	科政学と人間生 音治・楽経活 美書道ⅠⅠⅠ 論理・表現Ⅰ 情報の表現と管		数地音学学Ⅰ 美書論道楽Ⅱ フ情報ド・表Ⅱ 情一ド・表Ⅱ 理一ド・表Ⅱ 現一ド・表Ⅱ 管一ド・表Ⅱ		
SHR 11:55～12:05		昼 食		昼 食	
4 13:00 } 13:50	家庭総合 論理学国語 数物理基Ⅱ 体体育1・2・3 簿育1・2・3記		英語コミュニケーションⅠ 体 育 1 . 2 . 3 生 物 基 礎 保 育 基 礎		
5 14:00 } 14:50	家庭総合 地学基礎Ⅱ 英語コミュニケーションⅡ 情コミュニケーションⅠ マーカーテイニング		現代の国語 体代育1・2・3 日本史探Ⅲ 物保理育基礎 情報の表現と管		
掃 除 14:55～15:05		掃 除 14:55～15:05		掃 除 14:55～15:05	
6 15:10 } 16:00	体 育 1 . 2 . 3 化 学 基 礎 学 基 礎	運動場 / 体育館	公 共 化 学 基 礎 ビジネス基礎 英語コミュニケーションⅡ		
7 16:10 } 17:00	総合的な探究の時間 (人生設計)	各指定教室等	特 別 活 動		

高知県立高知北高等学校通信制

〒780-8039 高知県高知市東石立町160番地

TEL (088)832-2182(代表)・(088)832-2183・(088)832-2197

FAX (088)833-7484



(高知北高等学校通信制課程ホームページ)

登録番号	氏名
------	----

令和6年度行事予定表

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 月	春季休業	1 水	スⅡ①	1 土	週休日	1 月		1 木		1 日	スⅠ⑥
2 火		2 木		2 日	県体	2 火		2 金		2 月	
3 水		3 金	憲法記念日	3 月		3 水	T 1	3 土	週休日	3 火	
4 木	後期登録手続	4 土	みどりの日	4 火		4 木		4 日	週休日	4 水	スⅠ⑥
5 金	後期登録手続	5 日	こどもの日	5 水	レクリエーション大会	5 金	週休日	5 月		5 木	
6 土	週休日	6 月	振替休日	6 木		6 土	週休日	6 火		6 金	週休日
7 日	週休日	7 火		7 金	週休日	7 日	T 2	7 水		7 土	週休日
8 月		8 水		8 土	週休日	8 月		8 木		8 日	スⅡ⑥
9 火		9 木		9 日	スⅡ③	9 火		9 金	夏季休業	9 月	
10 水		10 金	週休日	10 月		10 水	T 2	10 土	週休日	10 火	
11 木	レポート発送	11 土	週休日	11 火		11 木		11 日	山の日	11 水	スⅡ⑥
12 金	週休日	12 日	スⅠ②	12 水	スⅡ③	12 金	週休日	12 月	振替休日	12 木	
13 土	週休日	13 月		13 木		13 土	週休日	13 火	学校閉庁日	13 金	週休日
14 日	入学式	14 火		14 金	週休日	14 日	T 3・再試験	14 水	学校閉庁日	14 土	週休日
15 月		15 水	スⅠ②	15 土	週休日	15 月	海の日	15 木		15 日	スⅠ⑦
16 火		16 木		16 日	スⅠ④	16 火	再試験	16 金	週休日	16 月	敬老の日
17 水		17 金	週休日	17 月		17 水	T 3・再試験	17 土	週休日	17 火	
18 木		18 土	週休日	18 火		18 木	再試験	18 日	スⅠ⑤	18 水	スⅠ⑦
19 金	週休日	19 日	スⅡ②	19 水	スⅠ④	19 金		19 月		19 木	
20 土	週休日	20 月		20 木	夏季試験レポートと試験申込書の最終締切日	20 土	週休日	20 火		20 金	週休日
21 日	スⅠ①	21 火		21 金	週休日	21 日	週休日	21 水	スⅠ⑤	21 土	週休日
22 月		22 水	スⅡ②	22 土	週休日	22 月		22 木		22 日	スⅡ⑦ 秋分の日
23 火		23 木		23 日	スⅡ④	23 火		23 金	週休日	23 月	振替休日
24 水	スⅠ①	24 金	週休日	24 月		24 水	通知表発送	24 土	週休日	24 火	
25 木		25 土	週休日	25 火		25 木		25 日	スⅡ⑤	25 水	スⅡ⑦
26 金	週休日	26 日	スⅠ③	26 水	スⅡ④ 必修視察票締切日(夏季)	26 金	振替週休日	26 月		26 木	
27 土	週休日	27 月		27 木		27 土	週休日	27 火		27 金	週休日
28 日	スⅡ①	28 火		28 金	週休日	28 日	通信のつどい 三者面談	28 水	スⅡ⑤	28 土	北通祭準備
29 月	昭和の日	29 水	スⅠ③	29 土	週休日	29 月		29 木		29 日	北通祭
30 火		30 木		30 日	T 1	30 火		30 金	週休日	30 月	振替週休日
		31 金	週休日			31 水		31 土	週休日		
※ 4/28 生徒総会		※ 5/1 生徒総会 ※ 5/19・22 歯科検診・身体測定 ◆ 5/12・15 専門学校説明会(7限)		※ 6/9・12 防災教育 ※ 6/23・26 人権教育		7/21 リーダー研修 7/19・22・23 夏季試験開示期間 ◆ 7/1 求人票受付開始 ◆ 7/31 指定校等申込締切 17:00		※ 8/25・28 校内生活体験発表会 第1回指定校推薦校内選考(上旬) 第2回指定校推薦校内選考(下旬)		※ 9/8・11 情報モラル教育 ※ 9/22・25 生徒集会・防災教育 ◆ 9/5 就職応募書類受付開始 ◆ 9/16 就職試験開始 ◆ 大学・専門学校等への出願開始 ◆ 大学共通テスト試験志願者説明会 (9月上旬) 北高通信10月号発送(9/19)	
北高通信5月号発送(5/9)		北高通信6月号発送(5/30)		北高通信7月号発送(6/27)		北高通信9月号発送(8/22)		北高通信10月号発送(9/19)			

スⅠ…スクーリングⅠ スⅡ…スクーリングⅡ
 T1…定期試験1 T2…定期試験2 T3…特別試験
 欄外※…スⅡ7限特別活動内容 欄外◆…進路・総合的な探究の時間（人生設計）

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
1 火		1 金 週休日		1 日 スⅡ⑨		1 水 元日	↓ 冬季休業 ↓	1 土 週休日		1 土 週休日	
2 水		2 土 週休日		2 月		2 木 学校閉庁日		2 日 週休日		2 日 卒業式	
3 木	秋季試験レポートと試験申込書の最終締切日	3 日 校外スクーリング文化の日		3 火		3 金 学校閉庁日		3 月		3 月	
4 金 週休日		4 月 振替休日		4 水 スⅡ⑨		4 土 週休日		4 火		4 火 振替週休日	
5 土 週休日		5 火		5 木		5 日 T1		5 水 追試験受験願締切(17:00)		5 水	
6 日 高知支部体育大会		6 水 校外スクーリング		6 金 週休日		6 月		6 木		6 木	
7 月		7 木		7 土 週休日		7 火		7 金 週休日		7 金 週休日	
8 火		8 金 週休日		8 日 スⅠ⑩		8 水 T1		8 土 週休日		8 土 週休日	
9 水	レクリエーション大会 必面視聴票締切日(秋季)	9 土 週休日		9 月		9 木 高卒認定・技能審査合格証明書提出締切		9 日 追試験		9 日	
10 木		10 日 スⅠ⑧		10 火		10 金 週休日		10 月		10 月	
11 金 週休日 県生活体験発表会		11 月		11 水 スⅠ⑩		11 土 週休日		11 火 建国記念の日		11 火	
12 土 週休日		12 火		12 木		12 日 T2		12 水 追試験		12 水	
13 日 T1		13 水 スⅠ⑧		13 金 週休日		13 月 成人の日		13 木		13 木	
14 月 スポーツの日		14 木 振替週休日		14 土 週休日		14 火 振替週休日		14 金 週休日		14 金	
15 火		15 金		15 日 スⅡ⑩		15 水 T2		15 土		15 土 週休日	
16 水 T1		16 土 週休日		16 月		16 木		16 日		16 日 週休日	
17 木		17 日 スⅡ⑧		17 火		17 金 週休日		17 月		17 月	
18 金 週休日		18 月		18 水 スⅡ⑩		18 土 週休日		18 火		18 火	
19 土 週休日		19 火		19 木		19 日 T3・再試験		19 水		19 水	
20 日 T2		20 水 スⅡ⑧		20 金 年度末試験レポートと試験申込書の最終締切日		20 月 再試験		20 木		20 木 春分の日 ↑	
21 月		21 木		21 土 週休日 ↑		21 火 再試験		21 金 週休日		21 金	
22 火		22 金 週休日		22 日 週休日 ↑		22 水 T3・再試験		22 土 週休日		22 土 週休日	
23 水 T2		23 土 勤労感謝の日		23 月	↑ 冬季休業 ↑	23 木		23 日 天皇誕生日 卒業生登校日		23 日 週休日	
24 木		24 日 スⅠ⑨		24 火		24 金		24 月 振替休日		24 月	
25 金 週休日		25 月		25 水		25 土 週休日		25 火		25 火	↑ 春季休業 ↑
26 土 週休日		26 火		26 木 必面視聴票締切日		26 日 週休日		26 水		26 水	
27 日 T3・再試験		27 水 スⅠ⑨		27 金		27 月		27 木		27 木	
28 月 再試験		28 木		28 土 週休日		28 火		28 金 週休日		28 金	
29 火 再試験		29 金 週休日		29 日 週休日		29 水 通知表発送				29 土 週休日	
30 水 T3・再試験		30 土 週休日		30 月 学校閉庁日		30 木				30 日 週休日	
31 木				31 火 学校閉庁日		31 金				31 月	
10/11 県生活体験発表会 愛校作業 北高通信11月号発送(10/24)	11/5・6・7 秋季試験開示期間 ※11/17・20 薬物乱用防止教育 ◆11/24・27 人生設計講演(マネー講座) 北高通信12月号発送(11/28)	※12/1・4 主催者教育 ※12/15・18 生徒総会 北高通信1月号発送(12/23)	1/9 高卒認定・技能審査の合格証明書の提出について ・17:00 締切 ・提出書類 〈高卒認定〉 合格成績証明書または科目合格通知書 〈技能審査〉 各技能審査の合格を証明する書類 1/24・27・28 年度末試験開示期間 北高通信2月号発送(1/30)								

目 次

<input type="checkbox"/> 令和6年度行事予定表	1~2	<input type="checkbox"/> 台風等の臨時休校の取扱いについて	21
<input type="checkbox"/> 目次	3	<input type="checkbox"/> 校歌、校舎配置図	22~23
<input type="checkbox"/> 入学から卒業まで	4	【記入例】 T3受験願	24
<input type="checkbox"/> スクーリングⅠ・Ⅱの時間割	5	【記入例】 勤務による定期試験欠席理由証明書	25
<input type="checkbox"/> 定期試験時間割	6		
<input type="checkbox"/> 教育課程	7	<科目別年間学習計画>	
<input type="checkbox"/> 自学自習・自己責任	7	現代の国語	26
<input type="checkbox"/> 通信制での学習の仕方	7~12	言語文化	27
1 レポート（添削指導）	7~11	論理国語	28
(1) レポートとは	7	古典探究	29
(2) レポートを提出するまでの学習	8	地理総合	30
(3) レポートの提出	8~10	歴史総合	31
・付箋紙の記入例		日本史探究	32
・郵送によるレポート提出方法		公共	33
・職員室前ポストへのレポート提出方法		倫理	34
・学校宛封筒の記入例		政治・経済	35
(4) レポートの添削と保存	10	数学Ⅰ	36
(5) 「学習書」について	11	数学Ⅱ	37
2 スクーリング（面接指導）	11~12	数学A	38
(1) スクーリングとは	11	科学と人間生活	39
(2) スクーリングにおける注意事項	11	物理基礎	40
(3) NHK高校講座の視聴による必面数の免除	11~12	化学基礎	41
3 校内での自習について	12	生物基礎	42
<input type="checkbox"/> 定期試験	12~16	地学基礎	43
1 定期試験について	12~15	化学	44
・日程		体育1	45
・受験の条件		体育2	46
・試験申込書記入の仕方		体育3-2	47
・受験日の変更			
・定期試験の評価		<input type="checkbox"/> MEMO	69
2 再試験について	15	<input type="checkbox"/> T3受験願	ページ数記載なし
3 受験上の注意	16	<input type="checkbox"/> 勤務による定期試験欠席理由証明書	ページ数記載なし
<input type="checkbox"/> 単位の認定	16	<input type="checkbox"/> MEMO	70
<input type="checkbox"/> 追試験	16	<input type="checkbox"/> 学習の記録	71
<input type="checkbox"/> その他の単位認定	17	<input type="checkbox"/> レポート提出期限一覧表	72
<input type="checkbox"/> 生徒指導方針	18	<input type="checkbox"/> 裏表紙 受験資格一覧表	
<input type="checkbox"/> 特別活動	18	<input type="checkbox"/> その他（別紙）	
<input type="checkbox"/> 北高通信	19	令和6年度ホーム編成表／公務分掌表	
<input type="checkbox"/> 在籍期間	19	スクーリングⅠ・Ⅱ科目担当入時間割	
<input type="checkbox"/> 年度ごとの手続きについて	19	科目内教室割り当て表／NHK高校講座番組予定表	
<input type="checkbox"/> 受講料および諸経費について	19		
<input type="checkbox"/> 校友会	20		
<input type="checkbox"/> 各種手続きについて	20~21		
1 住所・電話番号が変わったら（生徒諸情報変更届）			
2 証明書の発行について			
3 教科書・学習書の無償給付について			
4 就学支援金・奨学給付金について			
5 奨学金制度について			
6 勤労学生の所得控除について			

〈登録番号について〉

登録番号は、レポート・試験・質問・連絡等をする際に必要です。必ず覚えておきましょう。

入学から卒業まで

入 学

自主学習
(P. 49 ~)

- 教科書・学習書・参考書などを参考にして学習
- NHK高校講座の視聴
- 電話・郵便または出校しての質問
(スクーリング日以外も可。金・土は原則休み)

**スクーリング
(面接指導)**
(P. 53 ~)

○スクーリング出席

**レポート提出
と添削指導**
(P. 49 ~)

○各科目ごとのレポート提出
(期限を守って持参もしくは郵送)
○科目担任の添削後、返送
(合格の場合は締切日以降、次の
レポートと一緒に返送)
(不十分な場合は再提出となる)

定期試験
(P. 54 ~)

○夏季・秋季・年度末試験を受験

**教科以外の
特別活動**
(P. 60)

○S・H・R・掃除・特別活動・学校行事
などに参加して活動

単位認定の資格

○スクーリング (必要面接時間数以上) の出席 ○レポート提出・合格 ○試験合格

卒業の資格

○必履修科目を含み 74 単位以上修得
(新入生 (一部の転編入生を除く) は、総合的な探究の時間は必修得)
(転編入生は本校通信制課程の総合的な探究の時間を除く、「各教科・科目」を 1 科目以上履修)
○在学期間が 3 年以上であること (転編入生は前籍校での修了年数を加えることができる)
○特別活動 30 時間以上出席 (転編入生は卒業に必要な在学期間 1 年につき 10 時間以上)

卒 業

スクーリングⅠ・Ⅱの時間割

スクーリングⅠ			時間	スクーリングⅡ		
科 目	担 任	教 室		科 目	担 任	教 室
数 学 I 保 健 I 古 典 探 究 倫 理 基 礎 生 物 基 礎			1 9:00 ～ 9:50	言 語 文 化 歴 史 総 合 数 学 健 A 保 化 簿 2 学 記		
英語コミュニケーションI 化 学 基 礎 音 楽 I 美 術 I 書 道 I ビ ジ ネ ス 基 礎			2 10:00 ～ 10:50	科 学 と 人 間 生 活 地 理 総 合 音 楽 II 美 術 II 書 道 II フ ー ド デ ザ イ ン マ ー ケ テ ィ ン グ		
科 学 と 人 間 生 活 政 治 ・ 経 済 音 楽 I 美 術 I 書 道 I 論 理 ・ 表 現 I 情 報 の 表 現 と 管 理			3 11:00 ～ 11:50	数 学 I 地 学 基 礎 II 音 楽 II 美 術 II 書 道 II 論 理 ・ 表 現 I フ ー ド デ ザ イ ン 情 報 I		
SHR 11:55～12:05				昼 食		
昼 食						
家 庭 総 合 論 理 国 語 数 学 II 物 理 基 礎 体 育 1.2.3 簿 記			4 13:00 ～ 13:50	英語コミュニケーションI 体 育 1.2.3 生 物 基 礎 保 育 基 礎		
家 庭 総 合 地 学 基 礎 英語コミュニケーションII 情 報 I マ ー ケ テ ィ ン グ			5 14:00 ～ 14:50	現 代 の 国 語 体 育 1.2.3 日 本 史 探 究 物 理 基 礎 保 育 基 礎 情 報 の 表 現 と 管 理		
掃 除 14:55～15:05				掃 除 14:55～15:05		
体 育 1.2.3 化 学		運動場/体育館	6 15:10 ～ 16:00	公 共 化 学 基 礎 ビ ジ ネ ス 基 礎 英語コミュニケーションII		
総合的な探究の時間 (人生設計)	進路指導部 ホーム主任	各指定教室等	7 16:10 ～ 17:00	特 別 活 動		

※同一日に2時間開講されている科目について

【スⅠ】「体育1.2.3」は合同授業（男女別）です。4限目と6限目は同一授業なので、どちらかに出席してください。

【スⅡ】「体育1.2.3」は合同授業（男女別）です。4限目と5限目は同一授業なので、どちらかに出席してください。

※特別活動について

内容は、P.1～2「行事予定表」で確認してください。

※科目についての詳細は、この冊子の科目別年間学習計画で確認してください。

定期試験時間割

		1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
夏季試験・年度末試験	T1	科学と人間生活 地理総合 論理・表現Ⅰ フードデザイン マーケティング	体育Ⅰ 倫理 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	現代の国語 生物基礎 英語コミュニケーションⅡ 保育基礎 情報Ⅰ	公共 古典探究 体育Ⅱ 体育Ⅲ-Ⅱ 体育Ⅲ-Ⅲ	数学Ⅰ 化学
	T2	言語文化 政治・経済 数学Ⅱ 物理基礎 保健Ⅱ ビジネス基礎	保健Ⅰ 歴史総合 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ 簿記	英語コミュニケーションⅠ 論理国語 地学基礎 情報の表現と管理	家庭総合 日本史探究 数学A 化学基礎	(移動枠)

		1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
秋季試験	T1	言語文化 政治・経済 数学Ⅱ 物理基礎 ビジネス基礎	家庭総合 歴史総合 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ 簿記	英語コミュニケーションⅠ 論理国語 地学基礎 情報の表現と管理	日本史探究 数学A 化学基礎	(移動枠)
	T2	科学と人間生活 地理総合 論理・表現Ⅰ フードデザイン マーケティング	公共 倫理 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	現代の国語 生物基礎 英語コミュニケーションⅡ 保育基礎 情報Ⅰ	数学Ⅰ 古典探究 化学	(移動枠)

教 育 課 程

教育課程とは、「各教科・科目」「総合的な探究の時間」「特別活動」など、卒業するまでに学習し、体験する活動のすべてを言います。

高等学校を卒業するまでに、「各教科・科目」および「総合的な探究の時間」の単位を、学習指導要領に示された必履修科目を履修したうえで、74 単位以上修得しなければなりません。(転編入生は P.4「卒業の資格」参照)

特別活動は、卒業までに 30 時間以上 (3 年間で卒業の場合) 出席しなければなりません。(詳細は P.18「特別活動」参照)

自 学 自 習 ・ 自 己 責 任

通信制教育は基本的に週 1 日のスクーリング（面接指導）とレポートの提出で学習活動が展開されます。各教科によって最低限必要なスクーリングの回数とレポートの提出時期・回数が異なっていますので、必ず各自でスクーリングの出席回数やレポートの提出時期・回数を確認してください。

・ 自学自習

通信制は、登校する回数が少なく、自分でレポートに取り組む必要があります。下記の「Ⅲ 通信制での学習の仕方」をよく読み、学習しましょう。学習内容や、勉強の仕方が分からない場合には担当教員に相談しましょう。

・ 自己責任

通信制からの連絡は、基本的に毎月送付される「北高通信」および同封の文書や職員室前の掲示板等になります。登校したときや、学校から郵便物が届いたときは、必ず確認してください。また、学校から着信があったときにはすみやかに連絡を取るようになしてください。「知らなかった」「見ていなかった」では単位を修得できません。自己管理を行ってください。

通 信 制 で の 学 習 の 仕 方

1 レポート（添削指導）

(1) レポートとは

レポートは自学自習の成果を報告するもっとも大切なものです。内容の充実とともに提出期限までに合格するよう、計画的に取り組んでください。間違ったところは、復習しましょう。

通信制で大切な「自学自習」(自分の力で学習に取り組むこと)の気持ちを常に忘れず、一つひとつの学習活動を積み重ねて、単位修得を目指してください。

最初のレポートは年度当初の「北高通信」と一緒に郵送します。合格したレポートは提出期限以降に次のレポートとともに返送します。返送されないときは連絡してください。

(2) レポートを提出するまでの学習

学習にあたっては、まず教科書を十分に理解することが大切です。そのためには学習書や辞典類、参考書等を活用しましょう。疑問点があれば、科目担当に電話や手紙で個別指導を受けたり、スクーリング時に限らず、登校して直接相談（事前連絡が必要）するなど、積極的な学習をしてください。また、レポートは、自分の力で丁寧に作成してください。

NHKではラジオとテレビで「高校講座」を開講しています。計画的に視聴することも学習の助けになります。（詳細は、P.11.2(3)参照）

(3) レポートの提出

レポートは各レポートの提出期限内に出しましょう。各レポートの締め切りについては、その提出期限日の午後5時までとします。（最終締切日も午後5時まで）

レポートの提出にあたっては、レポート1部につき「付箋紙」1枚を付けてください。同じ科目のレポートを複数回分まとめて提出する場合もそれぞれに「付箋紙」1枚を付けます。付箋紙は職員室前に置いてあります。高知北高校通信制のホームページからダウンロードすることもできます。

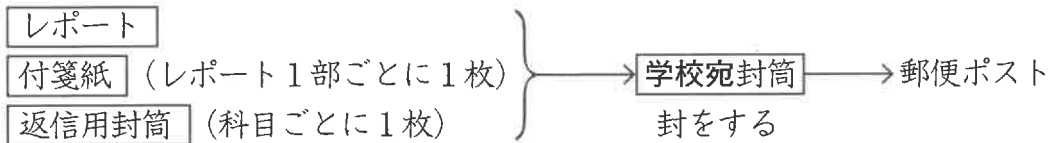
また、学校から返信するための「返信用封筒」は、必ず提出する科目数分を同封してください。封筒はP.10の記入例のような様式であれば、どのような封筒でもかまいません。（長形4号程度が適当です。）必要事項を印刷した封筒は、職員室で購入できます。

【付箋紙の記入例】

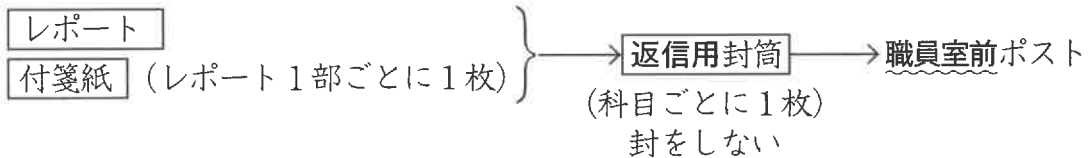
レポート・視聴票付箋紙		試験用付箋紙	
<small>高知県教育委員会認可通信教育</small>		<small>高知県教育委員会認可通信教育</small>	
<small>※ レポート1枚に、付箋紙1枚をつけてください。</small>			
登録番号 6 H 1 2 3	登録番号 6 H 1 2 3	登録番号 6 B 8 8 8	登録番号 6 B 8 8 8
氏名 ○○ ○○	氏名 ○○ ○○	氏名 ○○ ○○	氏名 ○○ ○○
科目名		科目名	
科学と人間生活		現代の国語	
分類		分類	
<input checked="" type="checkbox"/> レポート	<input type="checkbox"/> 視聴票	<input checked="" type="checkbox"/> レポート	<input type="checkbox"/> 視聴票
回数		回数	
第 1 回		第 1 回	
添削者	評価	添削者	取扱者
受付印		受付印	
返却日	/	返却日	/

- (注) ① 太ワク内に左右とも記入する。
 ② 左右は切り離さず、そのままレポートとともに提出する。
 ③ 分類の欄は、それぞれ該当する項目にチェック (✓) を入れる。

(郵送によるレポート提出方法)

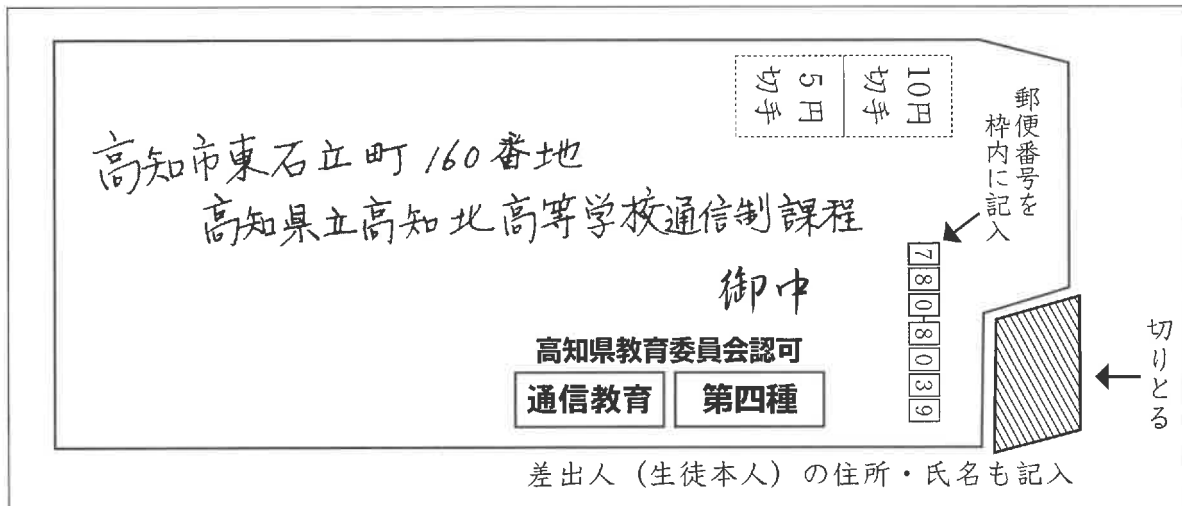


(職員室前ポストへのレポート提出方法)

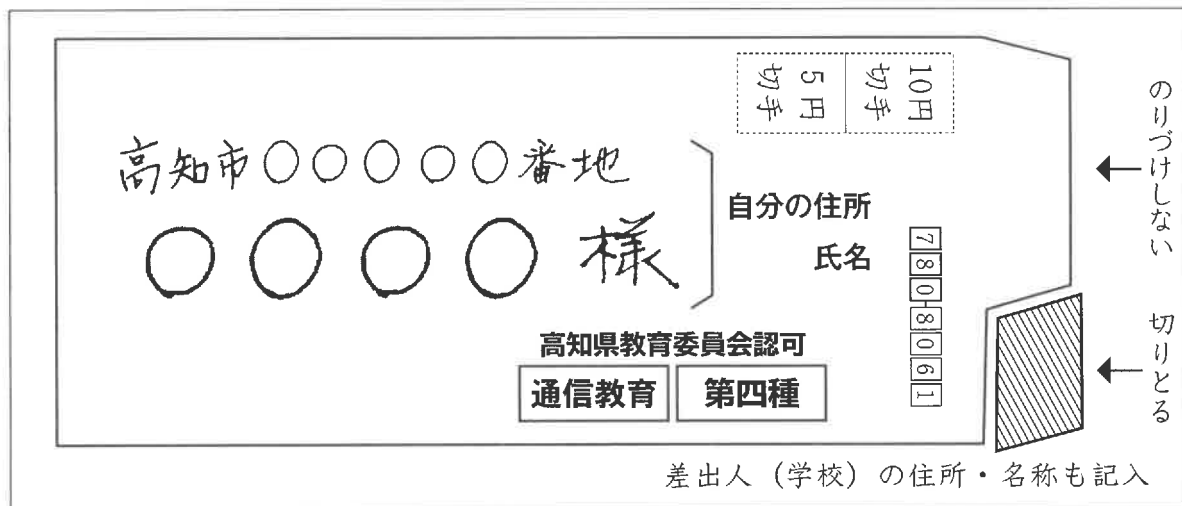


※学校、正門前の郵便受けに入れない。

【学校宛封筒の記入例】（自宅から学校へ郵送する場合）



【返信用封筒の記入例】（学校宛封筒に入れるか、職員室前のポストへ投函する場合）



- (注) ① 学校宛封筒、返信用封筒ともに、必ず $\frac{1}{3}$ 程度開いている状態にして、「通信教育」、
「第四種」と書いてください。（上図参照）
- ② 郵便料金は100gまで15円。100gを超えるごとに10円ずつ加算されます。
- ③ 学校宛封筒、返信用封筒ともに、15円分の切手を貼ってください。
- ④ 学校宛封筒に差出人の住所・氏名を記入してください。（返信用封筒には、差出人として学校名と住所を記入してください。職員室前にスタンプがあります。）
- ⑤ 返信用封筒は、試験申込書や視聴票を送るときも必ず同封してください。
- ⑥ 返信用封筒はのりづけしないでください。

(4) レポートの添削と保存

- ① 皆さんから送られてきたレポートは、受付日の押印後、各科目担当が添削します。添削とは、レポートの内容について、間違いを直したり、助言・評価などをすることで、皆さんの学習が効果的に進められるように指導するものです。その際、内容が不十分な場合は、「再提出」になります。その場合は、もう一度学習し直して、すみやかに提出してください。「再提出」の際も、レポート1部につき「付箋紙」1枚を付けてください。
- ② 合格したレポートは、そのレポートの提出期限後に、次回のレポートとともに返送します。受付日や評価をP.70「学習の記録」に記入した後、試験に備えて復習し、必ず保管しておいてください。

(5) 「学習書」について

「学習書」は通信教育において自学自習を進めやすくするために、教科書の「解説書」のような役割をするものです。学習をする際に活用しましょう。ただし「学習書」がない科目もあります。

2 スクーリング（面接指導）

(1) スクーリングとは

- ・ 「各教科・科目」「総合的な探究の時間」の面接指導を受ける。
- ・ 「特別活動」に出席する。

スクーリングは、基本的に日曜日と水曜日に行います。

スクーリングにはⅠとⅡの時間割があり、週替わりで行います。P.1～2「行事予定表」で確認してください。それぞれの時間割はP.5「スクーリングⅠ・Ⅱの時間割」に示しています。

(2) スクーリングにおける注意事項

- ① 科目ごとに定められている必要面接時間数（必面数）は、T1の前週水曜日までに充足しなければなりません。（P.26～68「科目別年間学習計画」参照）
- ② スクーリングに出席するときは、各科目の教科書やスクーリングに必要な物、筆記用具を持参してください。
登校したら、通信制職員室前にある出校表に必要事項を記入し、ホワイトボードや掲示板の連絡事項等を確認してください。
- ③ 「出席カード」は、スクーリング開始時に担当教員から受け取り、終了時に必ず提出してください。
- ④ スクーリングの遅刻・早退・離席については、遅刻・早退・離席の合計時間が10分を超える場合は欠席とします。
遅刻・早退・離席の合計が10分以内の場合は遅刻1回扱いとし、3回で欠席1時間とします。
- ⑤ P.1～2「行事予定表」に載っているスクーリングにはすべて出席することができます。ただし同じ週の日曜日と水曜日に行われる内容は同一のため、日・水両方に出席しても面接時間数は一方しか認められません。

(3) NHK高校講座の視聴による必面数の免除

NHKのラジオ・テレビで放送される「高校講座」は、スクーリングでは紹介できない専門的な実験や資料映像を視聴することができ、学習進度の異なる生徒の基礎学習となる番組です。インターネットでの視聴も可能です。視聴票がない科目がありますので「生徒必携」裏表紙で確認しておきましょう。

「視聴票」を提出し、合格すると以下の範囲内で必面数が免除されます。

ラジオ・テレビ……年間必面数の $\frac{6}{10}$ 以内

また、以下の科目は免除される時間数が異なります。

体育、美術Ⅰ、書道Ⅰ、家庭総合……免除は必面数の $\frac{4}{10}$ 以内

視聴票はスクーリングに代わるものであるため、視聴票による必面数の免除を受ける場合は、担当教員の指示に従ってください。レポート同様「再提出」となることもあります。視聴票の用紙は職員室前に置いてあります。高知北高校通信制のホームページからダウンロードすることもできます。

視聴票を提出する時は、レポートと同じく視聴票1部につき、付箋紙1枚と返信用封筒を付けてください。

必面数の充足と視聴票提出の締切日は、「行事予定表」(P.1、2)で確認してください。

3 校内での自習について

物理室や空き教室で自習をする際は、他の生徒の学習のさまたげになるような大きな声での会話や迷惑行為等をしてないようにしてください。

定期試験

1 定期試験について

日 程

- (1) 定期試験は夏季・秋季・年度末の3回行われます。
- (2) 各定期試験は、T1(1週目)・T2(2週目)・T3(3週目)の3週間の日程で行われ、各週の日曜日と水曜日は同じ試験時間割です。
※T3についてはP.15参照。

受験の条件

定期試験を受験するには、指定の期日(下表)までに、下記の①②③の条件を全て満たす必要があります。なお、②または③を満たせなかった時点で、その科目の履修は終了となります。

- ① 「試験申込書」を提出する。
- ② 各試験の定められた回数のレポートに合格する。(裏表紙「受験資格一覧表」参照)
- ③ 各試験の定められた回数のスクーリングに出席する。(裏表紙「受験資格一覧表」参照) 視聴票に合格すると、必要面接時間数を免除される科目もあります。

	最 終 締 切 日		
	夏季試験	秋季試験	年度末試験
試験申込書提出 レポート合格	6月20日(木)	10月3日(木)	12月20日(金)
スクーリング (視聴票)	6月26日(水)	10月9日(水)	12月26日(木)

(すべて午後5時 時間厳守)

試験申込方法

「試験申込書」は事前に北高通信とともに郵送します。

高知北高校通信制のホームページ「各種様式」からもダウンロードできます。

- 「試験申込書」を返信用封筒に入れ、指定の期日(上表)までに職員室前ポストに提出する。
- 郵送の場合は返信用封筒を付け、指定の期日(上表)の午後5時必着で提出する。

試験申込書記入の仕方

- (1) 「学校提出用」、「生徒控え」の両方にペンで必要事項を記入する。
- (2) 「受験日」と「受験予定の科目」を○で囲む。
- (3) 同一時間に2科目以上の受験科目がある場合は、必ず同じ日の空き時間へ移動する。
ただし、空き時間がない場合は、次のA～Dのいずれかとする。
- (4) 英語（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、論理・表現Ⅰ）は移動できない。

◎ 同じ日の空き時間に移動する。

*移動先を矢印で示し、「右表」に移動する科目名・日時を記入する。

記入例) 「情報Ⅰ」を2時限に、「体育2」を5時限に移動。

夏季試験 時間割	受験日	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	移動する科目	受験する日時
	T 1	6/30 (日) ・ 7/3 (水)	科学と人間生活 ○ <u>地理総合</u> 論理・表現Ⅰ フードデザイン マーケティング	体育Ⅰ 倫理 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	現代の国語 ○ <u>生物基礎</u> 英語コミュニケーションⅡ 保育基礎 ○ <u>情報Ⅰ</u>	公共 ○ <u>古典探究</u> ○ <u>体育2</u> 体育3-2 体育3-3		
T 2							体育2	6月(30)日(日)曜日 (5)時限
								7月()日()曜日 ()時限

A. 同じ日に空き時間がなければ、T1・T2の空き時間に移動する。(週をまたぐ移動)

*移動先を矢印で示し、「右表」に移動する科目名・日時を記入する。

記入例) T1実施の「情報Ⅰ」をT2の5時限に移動。

夏季試験 時間割	受験日	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	移動する科目	受験する日時
	T 1	6/30 (日) ・ 7/3 (水)	科学と人間生活 ○ <u>地理総合</u> 論理・表現Ⅰ フードデザイン マーケティング	体育Ⅰ 倫理 ○ <u>音楽Ⅰ</u> 美術Ⅰ 書道Ⅰ	現代の国語 ○ <u>生物基礎</u> 英語コミュニケーションⅡ 保育基礎 ○ <u>情報Ⅰ</u>	公共 ○ <u>古典探究</u> ○ <u>体育2</u> 体育3-2 体育3-3		
T 2	7/7 (日)	言語文化 ○ <u>政治・経済</u> 数学Ⅱ	保健Ⅰ ○ <u>歴史総合</u> 音楽Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ 論理国語 ○ <u>地学基礎</u>	家庭総合 日本史探究 ○ <u>数学A</u>	(移動する科目)	情報Ⅰ	7月(7)日(日)曜日 (5)時限
								7月()日()曜日 ()時限
								7月()日()曜日 ()時限

記入例) T2実施の「歴史総合」をT1の3時限に移動。

夏季試験 時間割	受験日	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	移動する科目	受験する日時
	T 1	○ <u>6/30</u> (日) ・ 7/3 (水)	科学と人間生活 ○ <u>地理総合</u> 論理・表現Ⅰ フードデザイン マーケティング	体育Ⅰ 倫理 ○ <u>音楽Ⅰ</u> 美術Ⅰ 書道Ⅰ	現代の国語 生物基礎 英語コミュニケーションⅡ 保育基礎 情報Ⅰ	公共 ○ <u>古典探究</u> ○ <u>体育2</u> 体育3-2 体育3-3		
T 2	7/7 (日)	言語文化 ○ <u>政治・経済</u> 数学Ⅱ	保健Ⅰ ○ <u>歴史総合</u> 音楽Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ 論理国語 地学基礎	家庭総合 日本史探究 ○ <u>数学A</u>	(移動する科目)	体育2	6月(30)日(日)曜日 (5)時限
							数学A	7月(7)日(日)曜日 (5)時限
								7月()日()曜日 ()時限
								7月()日()曜日 ()時限

B. 試験科目が11科目以上ある場合、6時限に受験。

* 移動する科目の左側に6限と記入し、移動する科目名・日時を「右表」へ記入する。

記入例) 「情報 I」を6月30日 日曜日6時限に受験。

受験日 ○で囲む	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	移動する科目	受験する日時	
T 1	6/30 (日)	科学と人間生活 ○地理総合 論理・表現 I	体育 I 倫理 ○音楽 I	現代の国語 ○生物基礎 英語コミュニケーション II	公共 ○古典探究 ○体育2	数学 I 化学	○ 体育2	6月(30)日(日)曜日 (5)時限
	7/3 (水)	フードデザイン マーケティング	美術 I 書道 I	保育基礎 ○ 情報 I	体育3-2 体育3-3		○ 情報 I	6月(30)日(日)曜日 (6)時限
							月()日()曜日 ()時限	

C. 同じ日に空き時間がなければ、T3に移動する。 (この場合、書類の提出は不要)

* T3に移動した科目の再試験はありません。

* 移動する科目の左側にT3と記入し、「右表」T3に移動する科目名・日時を記入する。

記入例) T1実施の「情報 I」をT3の3時限に移動。

受験日 ○で囲む	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	移動する科目	受験する日時	
T 1	6/30 (日)	科学と人間生活 ○地理総合 論理・表現 I	体育 I 倫理 ○音楽 I	現代の国語 ○生物基礎 英語コミュニケーション II	公共 ○古典探究 ○体育2	数学 I 化学	○ 体育2	6月(30)日(日)曜日 (5)時限
	7/3 (水)	フードデザイン マーケティング	美術 I 書道 I	保育基礎 ○ 情報 I	体育3-2 体育3-3			月()日()曜日 ()時限
T 2	7/7 (日)	言語文化 ○政治・経済	保健 I ○歴史総合	英語コミュニケーション I 論理国語 ○地学基礎	家庭総合 日本史探求 ○ 数学A	(移動する科目)	○ 数学A	7月(7)日(日)曜日 (5)時限
								月()日()曜日 ()時限
							○ 情報 I	7月(14)日(日)曜日 (3)時限

D. 同じ週の日・水に分けて受験する。

* 重複する科目の左側に、受験する曜日を記入する。

記入例) 「情報 I」のみ7月3日 水曜日3時限に受験。(右表への記入は不要)

受験日 ○で囲む	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	移動する科目	受験する日時	
T 1	6/30 (日)	科学と人間生活 ○地理総合 論理・表現 I	体育 I 倫理 ○音楽 I	現代の国語 ○生物基礎 英語コミュニケーション II	公共 ○古典探究 ○体育2	数学 I 化学	○ 体育2	6月(30)日(日)曜日 (5)時限
	7/3 (水)	フードデザイン マーケティング	美術 I 書道 I	保育基礎 ○ 情報 I	体育3-2 体育3-3			月()日()曜日 ()時限
T 2							月()日()曜日 ()時限	

受験日の変更

受験日を変更する場合は、原則として本人がホーム主任に連絡する。変更の手続きは次のとおりです。

同じ週の変更

(1) 次の定められた期限までに届け出る。

同じ週の

- ・日→水変更 …… 試験申込書で申し込んだ日曜日の午後5時まで
- ・水→日変更 …… 受験する日曜日の午前9時まで

(2) 一部の科目だけの変更は認められない。

T3への変更

特別な事情（忌引き・病気・勤務等）があり、認められた場合は、当日の全てまたは一部の試験をT3に変更できます。変更するには次の手続きをしてください。

(1) 本来の試験日の午後5時までにホーム主任に連絡する。

(2) 下記の期限までに、**T3受験願、受診日等の分かる書類、勤務を証明する書類等**を提出する。

* 「T3受験願」は通信制のホームページ「各種様式」からもダウンロード可能。

* 「T3受験願」の記入例は、P.24。様式は、ページ数記載なし。

	T3受験願・必要書類等の提出					
	夏季試験		秋季試験		年度末試験	
T3受験日	7/14 (日)	7/17 (水)	10/27 (日)	10/30 (水)	R7/1/19(日)	1/22 (水)
提出締切日	7/11 (木)	7/16 (火)	10/24 (木)	10/29 (火)	1/16 (木)	1/21 (火)

(すべて午後5時 時間厳守)

<変更にあたっての注意>

- ・変更できるのは11科目以内です。
- ・提出書類に不備がある場合は変更は認められません。
- ・T3で受験した科目の再試験はありません。

定期試験の評価

- ・試験は100点法で評価し、各科目担当から、それぞれ結果を通知します。
- ・受験しなかった場合は0点扱いとなり、再試験を受けることはできません。
- ・不正行為が確認された場合はその科目は0点扱いとなります。

2 再試験について

定期試験が30点未満の科目は、再試験を受験できます。事前の申し込みは必要ありません。受験する際は、受験当日に教室前で該当科目ごとに「再試験受験願」に記入をします。再試験の評価は以下のとおりです。

- ・得点が30点を超えても、その科目の得点は30点とします。
- ・30点未満の場合、定期試験の得点と比較して、高い方をその科目の得点とします。

3 受験上の注意

- ・試験開始後 10 分を超えると、その試験は受験できない。
- ・試験開始 25 分経過後は退出可能。
- ・試験開始後の筆記用具の貸し借りはしない。
- ・机の上には筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム等）持ち込みを許可されたもの以外は置かない。
- ・机の中には何も入れず、空の状態にしておく。
- ・スマートフォン、スマートウォッチ、携帯電話等の端末機器（通信機能を持った機器をすべて含む）の電源は切り、カバンの中に入れる。
- ・質問の際は手をあげる。
- ・私語、わき見、その他疑わしい行為をしない。

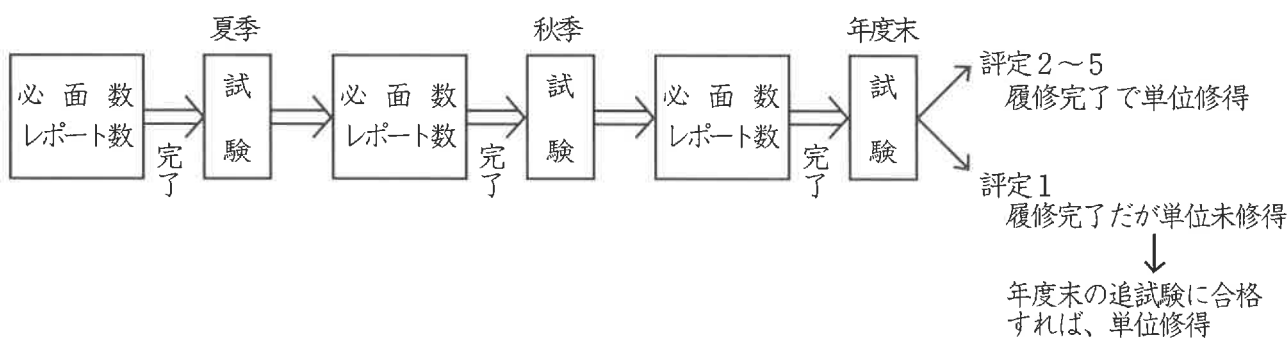
単位の認定

年度末に、皆さんの 1 年間の学習活動全体を総合評価します。評価は 5 段階とし、成績の良いものから順に 5・4・3・2・1 とします。評価 2 以上で、単位の修得が認定されます。認定は、2 月に「学業成績・単位修得通知表」を送付し、お知らせします。

評価 1 は、履修完了は認められますが、単位を修得したことにはなりません。

【学習の流れ】

重要 必面数・レポート数が満たされない場合、その時点で履修できなくなります



追試験

評価が「1」となった科目は、その年度内の追試験を受験することができます。追試験で合格を認められた場合には、単位の修得が認定されます。

ただし、追試験を受験するためには「追試験受験願」を期限までに提出し、申し込みどおりの時間割で受験しなければなりません。受験願の締切日および受験日は、P. 1～2「行事予定表」で確認してください。

その他の単位認定

通信制の科目以外に、下記のような場合に条件付きで卒業に必要な単位として認定します。

1 共通講座・特別講座・通定併修

「共通講座」・「特別講座」は、スクーリング日以外の午後の時間を利用した講座です。

「共通講座」は、課程を越えて進路や希望、能力に応じて受講できる講座です。

「特別講座」は、生徒と一般の受講生を対象とした講座で、幅広い教養と豊かな人間性を育むことを目的としています。

また、「通定併修」は、通信制に設定していない科目を本校の夜間部で受講するシステムです。

それぞれ受講を希望する場合は、継続手続きのときに申し込んでください。

2 技能審査

通信制在籍中に技能審査に合格すると、増加単位数を認めることができます。ただし、対応科目を修得完了していることが必要です。

「技能審査の単位認定に係る対応科目と増加単位数」

教科	技能審査の種類	級・種別	増加数	対応科目	主催団体等
国語	日本漢字能力検定	2級	2単位	現代の国語	日本漢字能力検定協会
芸術	硬筆書写技能検定	2級	1単位	書道Ⅰ	日本書写技能検定協会
	毛筆書写技能検定	2級	2単位	書道Ⅰ 書道Ⅱ	日本書写技能検定協会
英語	実用英語技能検定	2級	3単位	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	日本英語検定協会
		準2級	2単位	論理・表現Ⅰ	
家庭	全国高等学校 家庭科食物調理 技術検定	1級	2単位	フードデザイン	全国高等学校家庭科教育振興会
		2級	1単位		
商業	簿記検定	2級	2単位	簿記	日本商工会議所
	商業経済検定	1級	3単位	ビジネス基礎	全国商業高等学校協会
		2級	2単位		

注) 旧教育課程の科目は、該当する科目で認定します。

3 高等学校卒業認定試験（高卒認定）

文部科学省が年2回実施し、高等学校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを認定する試験です。合格した科目は、単位を認定します。

* 技能審査および高卒認定による単位認定を希望する場合は、ホーム主任や教務部に相談してください。また、これらの合格証明の提出締切日はP.1～2「行事予定表」で確認してください。

* 技能審査と高認・大検(大学入学検定試験、平成16年まで実施)を合わせて20単位までとし、卒業単位として認定します。

生徒指導方針

本校通信制課程の生徒指導の基本は、『自律と自己責任』です。これは、「他者に管理されるのではなく自分自身で自分を管理し、そして自分で考え行動し、その結果についての責任も自分で負う。」ということです。今後、学校生活を送るうえで基本となる考え方ですので、覚えておくとともに、実践できるよう日々努力していきましょう。

また、校則は定めていませんが、「他の生徒に迷惑をかけない」「時間を守る」「その場にふさわしい言動を心がける」「施設器具は大切に扱う」「環境美化やゴミの分別に心がける」等のルールは存在します。お互いが快適な学校生活を送るために、下記のことに也十分留意して学校生活を送ってください。

【敷地内禁煙】 学校敷地内全面禁煙（車内禁煙を含む）

【スマートフォン等】 スクーリング・特別活動・学校行事等における情報通信端末機器の使用は、担当教員の許可がなければ禁止です。必ず電源を切るか、マナーモードにし、バッグに入れてください。

「触れない・置かない・使わない」が本校3課程の共通ルールです。

【服装】 学習活動に支障をきたさないもの（状況に応じて）にしてください。

【通学】 自転車・バイクは所定の場所に駐輪し、自家用車は駐車スペース（白線内）が空いていれば駐車していただいて結構です。なお、水曜日は混雑が予想されますので、交通事故には特に注意してください。

※自転車通学者もヘルメットを着用しましょう（努力義務）

【問題行動】 他の生徒に迷惑をかける言動は厳に慎むようにしてください。

特に、いじめ、暴力、器物破損、反社会的行為等発覚の際は、状況により厳しい指導を行います。

【貴重品】 私物は、各自で責任をもって管理してください。（特に貴重品）

【事故の防止】 交通ルールを守り、事故の被害者・加害者にならないように留意してください。また、命を大切にするとともに、海・河川・用水路等での水難事故にも注意しましょう。

【各種手続き】 学校行事や特別活動への申し込み等の各種手続きは、期限を守るとともに、自身で責任をもって行ってください。

特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和や個性の伸長を図り、集団や社会の一員としての生活や人間関係への自主性、実践的な態度や在り方生き方など、自己を生かす能力を養うことを目的としています。

特別活動は、卒業までに30時間以上の出席が必要です。（転編入生は卒業に必要な在学期間1年につき10時間以上）

特別活動には、次のようなものがあります。

- ・スクーリングⅠ・Ⅱのホームルーム（SHR）、清掃活動（掃除）
- ・スクーリングⅡ7限の特別活動（生徒総会、校内生活体験発表会等）
- ・学校行事等（入学式、校外スクーリング、北通祭、定通体育大会等）

北 高 通 信

本課程は、年間を通して「北高通信」（年9回）、「仲間」（年1回）を発行しています。
また、これらに同封する書類等も多くあります。毎回必ず目を通し、保管しておく習慣を身につけましょう。未確認のために手続きの必要な書類が遅れることのないように気をつけてください。

在 籍 期 間

卒業に必要な在学年数の3倍を在籍可能期間とします。

年度ごとの手続きについて

卒業の資格を得るためには、年度ごとに教科登録の手続きが必要です。2年次以降の教科登録（継続手続き）は、北高通信2月号で通知します。内容を確認し、必ず本人が登校して手続きを行ってください。

仕事等の事情により休学を希望する場合は、休学願を期日までに提出してください。

- (注) ① 在学の意志がなく教科登録しない場合は、退学願を出してください。手続きをしないと除籍となります。
- ② 休学生が、次年度の教科登録をしなかった場合は除籍となります（ただし、事情により、最長2年間まで休学を認める場合があります）。
- ③ 除籍となった場合、修得した単位が認められないことがあります。

受講料および諸経費について

通信制の受講料は1単位あたり330円（年額）です。

受講料については、国・県の就学支援金制度により、手続きを行って「認定」となれば、自己負担額は0円となります。詳細は「各種手続きについて」をご確認ください。

受講料の金額や納入期限については、就学支援金の審査結果と併せて文書でお知らせします。就学支援金の認定状況等により異なりますが、9月～11月頃のお知らせとなる予定ですので、ご理解とご協力をお願いします。

また、受講料とは別に諸経費を納入していただくことになっています。この諸経費は、試験結果の郵送、災害共済給付金の掛金、校友会会費、生徒会活動費等の必要経費となりますので、定められた期日までに納入してください。

（金額・納入期限については文書でお知らせします。）

なお、通信制では口座振替を行っていないため、これらの経費については金融機関の窓口または事務室で納入いただくこととなります。

校 友 会

校友会とは、通信制課程の在校生・卒業生・教職員を会員とし、通信制の教育環境の改善や振興および会員相互の連携を図ることを目的とした組織で、PTAのない通信制にとりましては必要不可欠なものです。

活動内容は、総会・役員会で決められ、年間計画で実施し、「北高通信」で報告します。

各種手続きについて

1 住所・電話番号が変わったら（生徒諸情報変更届）

レポートや北高通信など重要な郵送物や連絡に支障がないように、住所・電話番号・名字等が変わる場合は、すぐにホーム主任に届け出てください。

2 証明書の発行について

各種の証明書の交付を希望する場合は、本人がホーム主任に申し出て、「証明書交付願」に必要事項を記入し、ホーム主任等の確認印をもらってから事務室に提出してください。証明書の作成には時間がかかります。また、日曜日は交付できません。作成・発行依頼は余裕を持って願い出てください。

3 教科書・学習書の無償給付について

通信制課程に通う生徒で、一定条件を満たす方（希望者）には、教科書・学習書を無償で給付する制度があります。就労状況等の区分によって申請期限があり、期日を過ぎると支給できませんのでご注意ください。

区分や条件、必要書類等については、新入生は登録手続き時に、それ以降は北高通信1月号でお知らせする予定です。ご不明な点があれば事務室までお問い合わせください。

4 就学支援金・奨学給付金について

就学支援金制度は、国・県による授業料（受講料）の実質無償化制度です。手続きを行い、「認定」となれば受講料の自己負担はありません。

本校では90%以上の方がこの制度を利用していますが、「受給を希望しない方」「期限までに手続きをしなかった方」「所得制限（目安：年収910万円以上）に該当する方」については、受講料を納入していただく必要があります。

手続きについては文書でお知らせしますので（毎年7月頃）、提出期限を守って手続きをしてください。

また、奨学給付金制度は、高校生等のいる世帯を対象とした給付金が支給される制度です。一定の収入条件がありますが、返還不要の給付金（30,000円～50,000円程度、年1回）を受け取ることができます。手続きについては、就学支援金と併せて毎年7月頃にお知らせする予定です。

5 奨学金制度について

経済的に修学困難な生徒を対象とした各種奨学金制度があります。希望者はホーム主任または奨学金担当まで申し出てください。

6 勤労学生の所得控除について

通信制課程在学学生は所得税の勤労学生控除の対象になります。詳しくは勤務先の給与担当者に問い合わせてください。給与所得者以外は税務署に相談してください。

台風等の臨時休校の取扱いについて

台風・大雨など非常変災時は、臨時休校にする場合があります。その代替措置（延期して実施する）は、可能な限り行います。

- 1 午前5時30分時点で、気象警報の発令状況・公共交通機関の運行状況等をもとに、「臨時休校」の判断をします。
- 2 臨時休校は、午前6時30分から高知北高校のホームページのトップページ (<https://www.kochinet.ed.jp/kita-h/>)「緊急連絡掲示板(3課程共用)」で確認できます。
- 3 遠距離通学等のため、早朝に自宅を出なければならない場合には、住んでいる地域における気象警報の発令状況・公共交通機関の運行状況等をもとに、判断してください。(河川の氾濫や土砂崩れ等で安全面の確保が危ぶまれるときは、登校しないこと)



校歌

作詞 東岡 淳助
作曲 柳井 卓

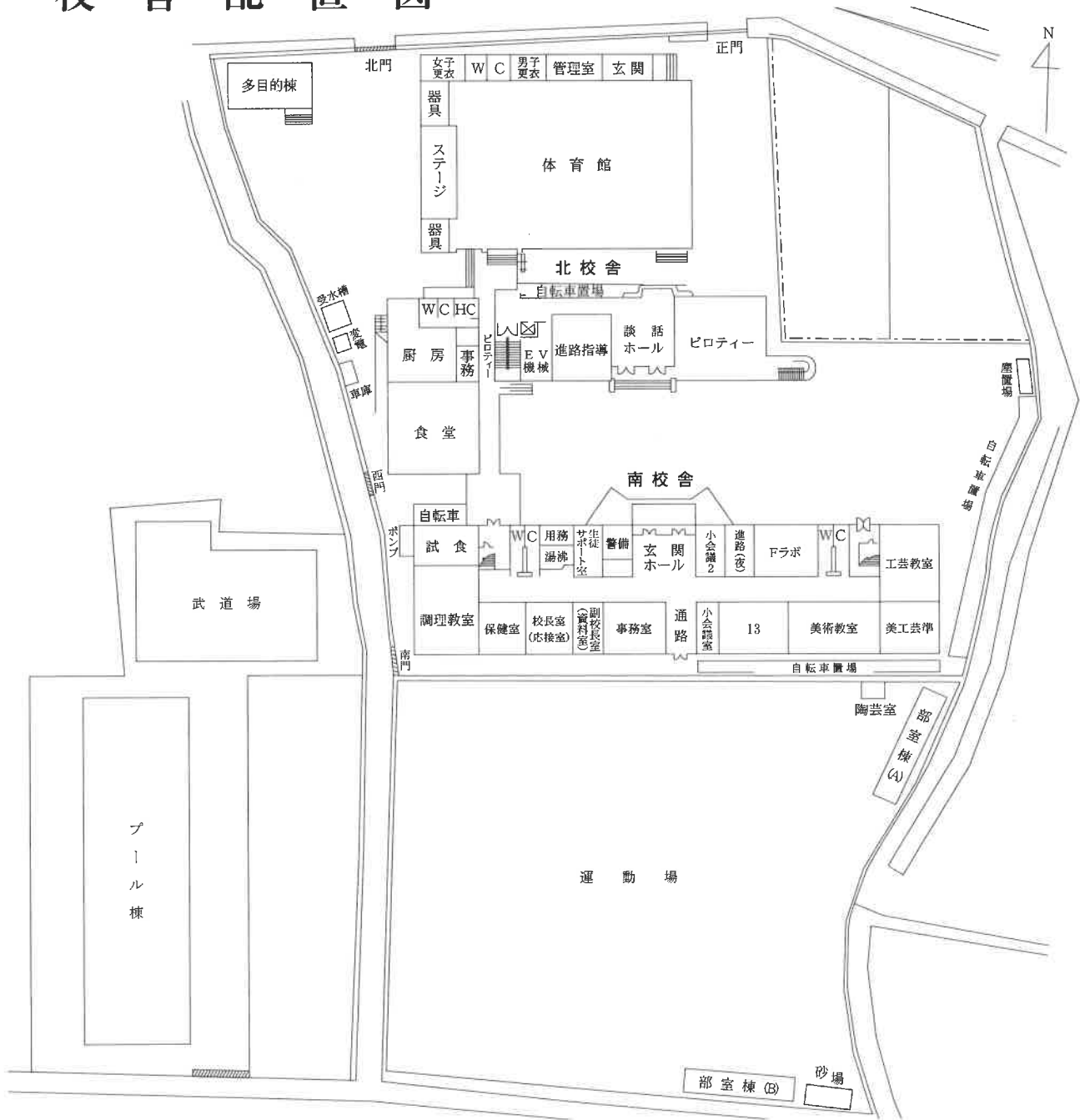
一、大土佐の 海鳴り遠く
仰ぎみる 北の山脈
こだま呼ぶ 自由の空へ

若き日の 歓びのせて
高らかに 高らかに
理想かかげん
ああ 希望あり 高知北高校

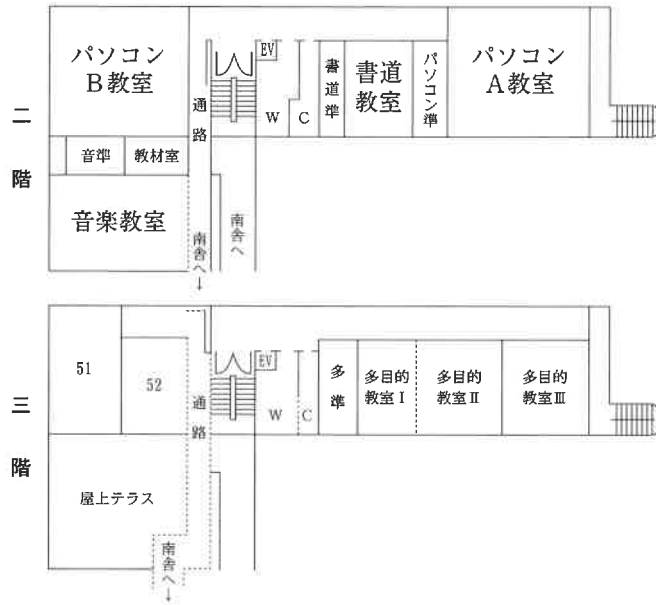
二、鏡川 流れは清く
先哲の 生まれし所
われもまた 真理を求め
たくましく 生命きたえて
限りなき 限りなき
力ためさん
ああ 誇りあり 高知北高校

三、星の夜 嵐の朝
たゆみなく 集ういくとせ
友愛と 不撓の精神
もろともに 培い育て
大いなる 大いなる
明日を 拓かん
ああ 使命あり 高知北高校

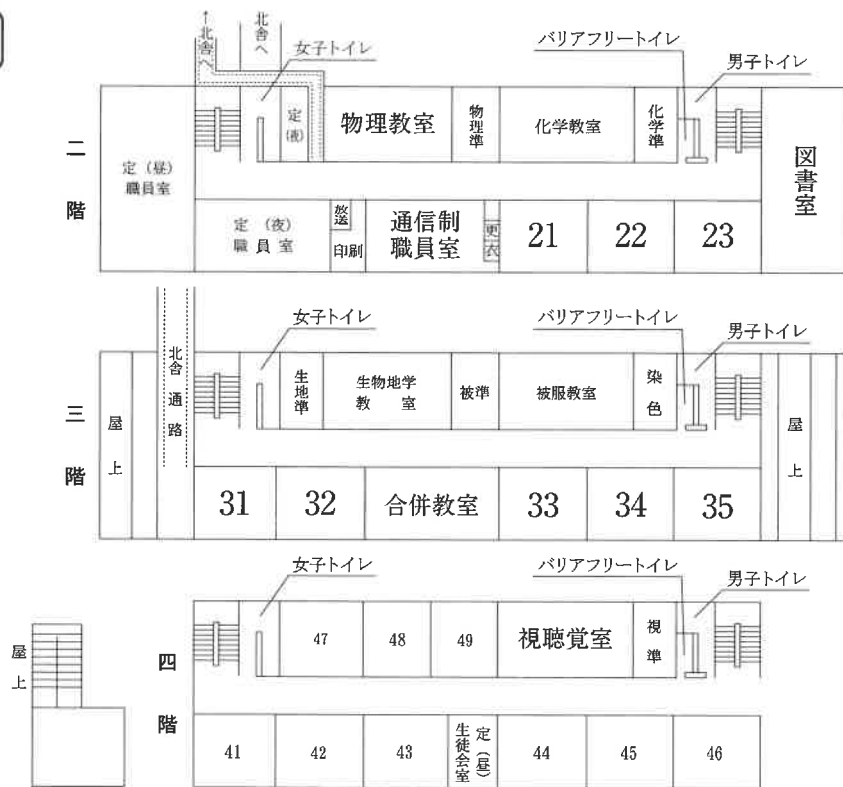
校舎配置図



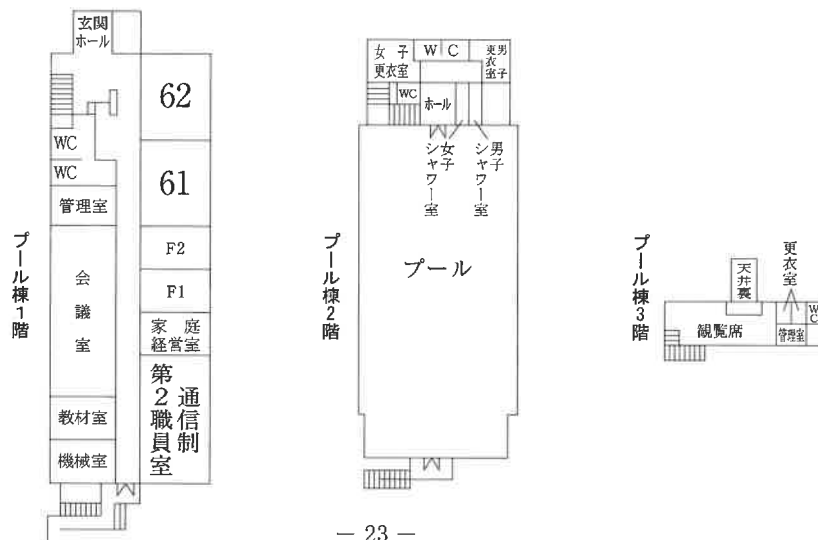
北校舎



南校舎



プール棟



※ 鉛筆書きは不可

<記入例>

教務主任	試験係

受付印

令和 6 年 7 月 14 日

《注意事項》

- ① 本来の受験日の午後5時までに申し出（電話連絡可）
- ② T3受験願、および「勤務による定期試験証明書」を教務部試験係に提出（P.25 参照）

登録番号 6K077

生徒氏名 ○○ ○○

T 3 受験願

私は、次の理由によりT3での受験を申し込みます。

1. 理由（該当項目を○で囲む）

ア. 病気（試験当日に病気等であることが証明できる、次のいずれかを添付）

- ① 診断書
- ② 病院名のある領収書と病院または院外薬局の薬袋

イ. 勤務（裏面の証明が必要）

ウ. その他（ ）

2. 提出した「試験申込書」の時間割（曜日変更をしている場合は変更した試験月日を記入）

※T1～T2のうち、T3受験を希望する試験月日と時間割を記入

	試験月日	科目				
		1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
T1	月 日 曜					
T2	7月10日 水曜	ビジネス基礎	簿記		化学基礎	

3. T3受験の申し込み時間割 ※希望する試験月日と科目を記入（希望の時限で申し込み可）

	試験月日		科目				
			1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
T3	月 日	日曜					
	7月17日	水曜	ビジネス基礎	簿記	化学基礎		

※ T3受験願は、日曜日受験は前週木曜日午後5時まで、水曜日受験は前日火曜日午後5時までに提出し、承認を受けること。

<記入例>

勤務による定期試験欠席理由証明書

高知県立高知北高等学校通信制

氏 名 ○○ ○○

うえの者は、下記の日勤務することを証明します。

記

勤務する日 令和 6年 7月 10日

証明書発行日 令和 6年 7月 7日

事業所名
(ゴム印)
住 所
電話番号

〒780-8039 高知市東石立町 160 番地
株式会社 ○○商事株式会社
TEL088-832-2182(代表)
FAX 088-833-7484

代表者名 ○○ ○○



会社の認印(社印)
(個人事業は事業主の認印)

※確認のため、学校から問い合わせる場合がありますのでご了承ください。

現代の国語

【 2単位 レポート提出回数：6回 必要面接時間数：2時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	自己を見つめる 教科書 P.6～17	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～2回	1	1	4	28・5/1	自己を見つめる(1) 作文 メディアとの付き合い方	
2	他者に出会う 教科書 P.24～38	6/5(水)					2	5	19・22	自己を見つめる(2) 作文 文章の要旨をまとめてみよう	
3	視野を広げる 教科書 P.68～85	8/28(水)		秋 季	レポート 第3～4回	1	3	6	9・12	他者に出会う 未来をつくる想像力 作文 集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	
4	社会と関わる 教科書 P.94～115	9/18(水)					4		23・26	他者に出会う 水の東西 作文 異なる種類の文章を読み比べよう	
5	世界とつながる 教科書 P.142～157	11/20(水)		年 度 末	レポート 第5～6回	2	5	8	25・28	視野を広げる スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色 作文 グラフや写真の読み取り方	
6	未来に目を向ける 教科書 P.166～187	12/11(水)					6	9	8・11	社会と関わる 鍋洗いの日々 作文 新聞記事を読んで意見文を書こう	
							7	22・25	社会と関わる 森で染める人 真夏のひしこ漁 作文 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう		
				8	11	17・20	世界とつながる 美しさの発見 リンゴのほっぺ 作文 読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう				
							9	12	1・4	未来に目を向ける 不思議な拍手 作文 推論の仕方	
							10		15・18	未来に目を向ける 真の自立とは 作文 資料を活用して発表しよう	

科 目 の 目 標	中学国語の内容を踏まえ、基礎的な国語の知識と読解力を身に付けるとともに、継続して努力する態度を育む。
科 目 の 概 要	現代文作品群から精選した課題（レポート）やスクーリングに取り組み、現代文の基礎力を身に付ける。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	教科書や学習書を熟読し、レポートの提出期限を守りましょう。スクーリングは積極的に参加し、教科書と筆記用具は必ず持参してください。
評 価 方 法	観点別評価で行い、【知識・技能】は定期試験（80%）、【思考・判断・表現】はレポート（10%）、【主体的に学習に取り組む態度】は授業への意欲および取り組む態度（10%）等を総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。

言語文化

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）				試 験		
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数
1	現代文【随筆】 教科書 P.10～22	5/22(水)		夏 季	レポート 第1～3回	1
2	【古文入門】 教科書 P.118～132	5/29(水)				
3	【漢文入門】 教科書 P.210～218	6/12(水)				
4	【詩歌】 教科書 P.50～65	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回	2 (夏季・秋季あわせて)
5	古文【随筆】文法 P.134～136 教科書 P.138～148	9/11(水)				
6	漢文【故事成語・漢詩】 教科書 P.220～236	9/25(水)				
7	現代文【小説】 教科書 P.72～87 教科書 P.94～116	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	3 (夏季・秋季・年度末あわせて)
8	古文【物語】 教科書 P.170～175	11/27(水)				
9	漢文【論語】 教科書 P.238～245	12/11(水)				

スクーリングⅡ（面接指導）				
回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	4	28・5/1	【現代文・随筆】生きる喜び “さくらさくらさくら” “美しい”ということ	
2	5	19・22	【古文入門】古文に親しむ “児のそら寝”	
3	6	9・12	【漢文入門】漢文に親しむ “漢文の基礎”	
4		23・26	【漢文入門】漢文に親しむ “漢文の基礎”	
5	8	25・28	【現代文・詩歌】命をうたう “短歌” “俳句”	
6	9	8・11	【古文・随筆】日々の思い “徒然草” “枕草子” “用言の活用”	
7		22・25	【漢文】漢文に親しむ “故事成語” 漢詩を味わう “絶句と律詩”	
8	11	17・20	【現代文・小説】葛藤する心 “羅生門” 現実の向こう側 “夢十夜” “デューク”	
9	12	1・4	【古文・物語】古人の生き方 “伊勢物語”	
10		15・18	【漢文・論語】論語のことば	

科 目 の 目 標	中学国語を踏まえ、基礎的な知識と読解力を身に付けるとともに、計画的に自学自習を進める。
科 目 の 概 要	現代文・古文・漢文の幅広い分野から精選した作品に関わる課題（レポート）やスクーリングに取り組み、国語力を身に付ける。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	教科書や学習書を熟読し、レポートは提出期限を守りましょう。スクーリングは積極的に参加し、教科書と筆記用具は必ず持参してください。
評 価 方 法	観点別評価で行い、【知識・技能】は定期試験（80%）、【思考・判断・表現】はレポート（10%）、【主体的に学習に取り組む態度】は授業への意欲および取り組む態度（10%）等を総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。

論理国語

【 4単位 レポート提出回数：12回 必要面接時間数：4時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅠ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	広がる風景 教科書 P.7～24	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～4回	2	1	4	21・24	“広がる風景” 対話とは何か、世界をつくり替えるために	
2	考える手がかり 教科書 P.25～54	5/15(水)					2	5	12・15	“考える手がかり” 少女たちの「ひろしま」、「ふしぎ」ということ	
3	人間と知性 教科書 P.55～74	5/29(水)					3	5	26・29	“人間と知性” 学ぶことと人間の知恵、ラップトップ抱えた「石器人」	
4	現実の中で 教科書 P.75～100	6/12(水)					4	6	16・19	“現実の中で” 思考の肺活量、安心について	
5	ものの見方 教科書 P.101～122	7/28(日)		秋 季	レポート 第5～8回	3	5	8	18・21	“ものの見方” 弱肉強食は自然の摂理か、複数の「わたし」	
6	働くよろこび、論理の力 教科書 P.123～166	8/21(水)					6	9	1・4	“働くよろこび” はじめに「言葉」がある、 楽に働くこと、楽しく働くこと、“論理とは何か”	
7	時代をひらく 教科書 P.167～184	9/4(水)					7	9	15・18	“時代をひらく” 最初のペンギン、豊かさと生物多様性	
8	新しい視点から 教科書 P.185～208	9/18(水)		年 度 末	レポート 第9～12回	4	8	11	10・13	“新しい視点から” 物語の外から、カフェの開店準備	
9	科学と人間 教科書 P.209～230	10/30(水)					9	11	24・27	“科学と人間” 鏡としてのアンドロイド、ロボットが隣人になるとき “豊かな認識” 言葉は「ものの名前」ではない、科学的「発見」とは	
10	豊かな認識、図表の読み取り方 教科書 P.231～260	11/13(水)					10	12	8・11	“知のゆくえ” 知識における作者性と構造的性、もう一つの知性 “明日をみつめて” ホンモノのおカネの作り方、未来のありか	
11	知のゆくえ 教科書 P.261～280	11/27(水)					12	12	8・11	“知のゆくえ” 知識における作者性と構造的性、もう一つの知性 “明日をみつめて” ホンモノのおカネの作り方、未来のありか	
12	明日をみつめて 教科書 P.281～308	12/11(水)									

科 目 の 目 標	「現代の国語」「言語文化」で学習した内容を踏まえながら、語句に関わる知識を身に付けるとともに、論理的な文章を読み、論理的な文章を書く力も養う。
科 目 の 概 要	さまざまな文章（小説は含まない）を読み、論理的に文章を読み取ること、論理的に書くことについて学びます。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	教科書や学習書を熟読し、レポートの提出期限を守りましょう。スクーリングには積極的に参加し、教科書と筆記用具は必ず持参してください。
評 価 方 法	観点別評価で行い、【知識・技能】は定期試験（80%）、【思考・判断・表現】はレポート（10%）、【主体的に学習に取り組む態度】は授業への意欲および取り組む態度（10%）等を総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。

古典探究

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅠ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	【古文】 教科書 P.12～17 教科書 P.36～49	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回	1	1	4	21・24	【古文】説話・物語 説話・物語の知られた個所を読み、有名な人物や逸話について知る。	
2	【古文】 教科書 P.20～33	5/29(水)					2	5	12・15	【古文】随筆 作者の観察眼を通じた世の諸事象に関する随筆を読み、考え方を深める。	
3	【漢文】 教科書 P.140～145	6/12(水)					3	5	26・29	【漢文】故事・寓話 故事成語由来の文から、漢文の基本を復習する。	
4	【古文】 教科書 P.60～65	8/28(水)		秋 季	レポート 第4～6回	2	4	6	16・19	【漢文】故事・寓話 故事成語由来の文から、漢文が日本語に与えた影響を理解する。	
5	【古文】 教科書 P.82～91	9/11(水)					5	8	18・21	【古文】随筆 作者が取り上げる事物、経験などを通して当時のものの考え方に触れる。	
6	【漢文】 教科書 P.186～201	9/25(水)					6	9	1・4	【古文】説話 昔話として現代まで継承された話を読み、登場人物の心境を読み取る。	
7	【古文】 教科書 P.94～105	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	3	7	9	15・18	【漢文】歴史書 登場人物の描写を読み、戦乱の時代に生きた人々への考察を深める。	
8	【古文】 教科書 P.108～116	11/27(水)					8	11	10・13	【古文】物語 長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	
9	【漢文】 教科書 P.204～211	12/11(水)					9	11	24・27	【古文】日記 日記の先駆の作品を読み、自己の内面を書き綴った心理描写に触れる。	
10							10	12	8・11	【漢文】諸家の思想 諸家の思想を読み「論語」と比較し、古代中国思想について理解を深める。	

科 目 の 目 標	「言語文化（国語総合）」で学習した内容を踏まえ、古文・漢文の基礎的な知識と読解力を身に付けるとともに、内容の理解・鑑賞を通して感性を養う。
科 目 の 概 要	古文・漢文の代表的な作品群から精選した課題（レポート）に取り組み、古典の世界を楽しみ、大学入試につなげる知識を学びます。
履修上の注意及びアドバイス	教科書や学習書を熟読し、レポートの提出期限を守りましょう。スクーリングは積極的に参加し、教科書と筆記用具は必ず持参してください。
評 価 方 法	観点別評価で行い、【知識・技能】は定期試験（80%）、【思考・判断・表現】はレポート（10%）、【主体的に学習に取り組む態度】は授業への意欲および取り組む態度（10%）等を総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。

地理総合

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	第1部 第1章 教科書 P.5～26	5/8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.5～85	1	1	4	28・5/1	地図でとらえる現代世界	
2	第1部 第2章 第2部 第1章 1節 教科書 P.27～59	5/22(水)					2	5	19・22	結び付きを深める現代 ～現代世界の国家と領域～	
3	第2部 第1章 2節 教科書 P.60～85	6/12(水)					3	6	9・12	生活文化の多様性と国際理解 ～世界の地形と人々の生活～	
4	第2部 第1章 3節 教科書 P.86～101	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.86～144	2	4	23・26	世界の気候と人々の生活		
5	第2部 第1章 4節 教科書 P.102～119	9/4(水)					5	8	25・28	世界の言語・宗教と人々の生活	
6	第2部 第1章 5節 教科書 P.120～144	9/18(水)					6	9	8・11	歴史的背景と人々の生活	
7	第2部 第2章 1節2節3節 教科書 P.145～165	10/30(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.145～227	3	7	22・25	世界の産業と人々の生活		
8	第2部 第2章 5節6節7節 教科書 P.166～188	11/20(水)					8	11	17・20	地球的課題と国際協力	
9	第3部 教科書 P.189～227	12/11(水)					9	12	1・4	人口・食料・都市・居住問題	
							10		15・18	持続可能な地域づくりと私たち	

科目の目標	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力をもち、社会にみられる課題の解決に向けて構想する力を育成することを目指す。
科目の概要	どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか、諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりでとらえ、地理的事象として見いだす。また、そうした地理的事象にはどのような空間的な規則性や傾向性がみられるのか、地理的事象を距離や空間的な配置に留意してとらえ、その背景や要因を人間の営みとの関わりに着目して追求する。
履修上の注意及びアドバイス	レポートは教科書、学習書、地図帳に基づいて出題します。スクーリングには教科書、筆記用具とともに地図帳を必ず持参してください。NHK高校講座「地理総合」を積極的に利用しましょう。日頃からメディアで報道される時事的な課題や地域について関心をもち、分からないことは積極的に調べるようにしましょう。
評価方法	次の3観点に基づいて総合的に評価します。Ⅰ知識・技能(定期考査等)…60% Ⅱ思考・判断・表現(レポート・定期考査の記述内容等)…20% Ⅲ主体的に学習に取り組む態度(レポートの提出状況・内容、スクーリングの取組等)…20% ※補足：ⅡとⅢの評価は、上記レポートの提出期限を過ぎると下がります。レポートの解答に誤りが多い場合、また、内容が不十分であったり、担当教員が指導上必要と判断した場合には、再提出になります。

歴史総合

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	第1章、第2章 1節 教科書 P.7～27	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.7～63	1	1	4	28・5/1	歴史の扉 近代化への問い (教科書 P.7～27)	
2	第2章 2節 教科書 P.28～51	5/22(水)					2	5	19・22	結び付く世界～18世紀の国際関係を中心に～ (教科書 P.28～51)	
3	第2章 3節①～⑤ 教科書 P.52～63	6/12(水)					3	6	9・12	市民革命の時代、国民国家の誕生 (教科書 P.52～55)	
4	第2章 3節⑥～⑩、4節 教科書 P.64～83	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.64～121	2	4	23・26	アジアの諸国家、明治維新と東アジアの国際関係 (教科書 P.56～63)		
5	第3章 1節、2節①～④ 教科書 P.84～99	9/11(水)					5	8	25・28	帝国主義の時代～20世紀はじめの世界 (教科書 P.64～83)	
6	第3章 2節⑤～⑨、3節①～④ 教科書 P.100～121	9/25(水)					6	9	8・11	大衆社会の時代、第一次世界大戦、ソ連の成立 (教科書 P.84～99)	
7	第3章 3節⑤～⑨ 教科書 P.122～141	11/ 6(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.122～195	3	7	22・25	大量消費社会、世界恐慌、国際協調体制の崩壊 (教科書 P.100～121)		
8	第4章 1節、2節 教科書 P.142～169	11/27(水)					8	11	17・20	第二次世界大戦と人類 (教科書 P.122～141)	
9	第4章 3節 教科書 P.170～195	12/11(水)					9	12	1・4	冷戦下の世界 (教科書 P.142～169)	
10							10	15・18	世界秩序の変容と日本 (教科書 P.170～195)		

科 目 の 目 標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本のつながり、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。前述の学習を通し、現在の歴史の課題について考え、グローバル化する国際社会に主体的に生きる力を身に付ける。
科 目 の 概 要	①歴史と私たちのつながりや、さまざまな資料の読み取り方について学びます。②歴史の形成やその背景について自ら問いを立て、さまざまな資料に基づき、「近代化」、「国際秩序の変化や大衆化」、「グローバル化」を軸に、多面的・多角的に考察し、現代的な諸課題について表現することを学びます。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	レポートは教科書、学習書に基づいて出題します。スクーリングには教科書、学習書と筆記用具を必ず持参してください。NHK 高校講座「歴史総合」を視聴すると学習が深まります。教科書だけでなく、地域の歴史など身近な話題にも関心をもち、分からないことはインターネットや書籍等を活用し、積極的に調べるようにしましょう。
評 価 方 法	次の3観点に基づいて総合的に評価します。Ⅰ知識・技能(定期考査等)…60% Ⅱ思考・判断・表現(レポート・定期考査の記述内容等)…20% Ⅲ主体的に学習に取り組む態度(レポートの提出状況・内容、スクーリングの取組等)…20% ※補足：ⅡとⅢの評価は、上記レポートの提出期限を過ぎると下がります。レポートの解答に誤りが多い場合、また、内容が不十分であったり、担当教員が指導上必要と判断した場合には、再提出になります。

日本史探究

【3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間】

レポート(添削指導)				試験		
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数
1	第1編 第1章・2章、3章1節 教科書 P.8～49	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.8～122	1
2	第1編 第3章2節 第2編 第1章・2章 教科書 P.50～79	5/22(水)				
3	第2編 第3章 教科書 P.80～122	6/12(水)				
4	第3編 第1章・2章・3章 1節1～3 教科書 P.124～155	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.124～217	2
5	第3編 第3章1節4～5、2節 教科書 P.156～186	9/11(水)				
6	第4編 第1章・2章・3章1節 教科書 P.188～217	9/25(水)				
7	第4編 第3章2節 教科書 P.218～239	11/ 6(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.218～313	3
8	第4編 第3章3節・4節 教科書 P.240～269	11/27(水)				
9	第4編 第3章5節～8節 第4章 教科書 P.270～313	12/11(水)				

スクーリングⅡ(面接指導)					
回	月	日	指導内容		出席確認
1	4	28・5/1	先史・古代の日本と東アジア① 先史社会の生活と文化、歴史資料の見方を中心に		
2	5	19・22	先史・古代の日本と東アジア② 古代社会の形成と展開、摂関政治と貴族文化		
3	6	9・12	中世の日本と世界① 中世社会の成立と展開～武家政権の成立と朝廷を中心に～		
4		23・26	中世の日本と世界② 武家支配の広がりや国際交流		
5	8	25・28	近世の日本と世界① 織豊政権から幕藩体制の成立を中心に		
6	9	8・11	近世の日本と世界② 幕藩体制の確立から動揺まで		
7		22・25	近現代の地域・日本と世界① 近代社会の幕開け～主に江戸幕府の終焉、明治維新～		
8	11	17・20	近現代の地域・日本と世界② 国民国家と資本主義の成立		
9	12	1・4	近現代の地域・日本と世界③ 第一次世界大戦～第二次世界大戦と日本		
10		15・18	近現代の地域・日本と世界④ 戦後日本の歩みについて、現代の世界と日本		

科目の目標	①日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解を深めます。②さまざまな情報を手がかりに時代を見通した問いを立て、表現する力を身に付けます。③日本の伝統と文化の特色を考察し、自国とともに他地域の伝統や文化を尊重する態度や、現代日本の諸課題の解決に向けて主体的に探究しようとする力を養います。
科目の概要	「原始・古代の日本と東アジア」「中世の日本と世界」「近世の日本と世界」「近現代の地域・日本と世界」の4部構成です。「歴史総合」の学習で培った歴史の学び方、資料のよみとり方を活用し、日本、そして各地域の歴史の展開について、世界との関わりをふまえ、さまざまな見方、考え方にふれながら歴史の「なぜ」について探究していきましょう。そして、これからの日本の課題について考えていきましょう。
履修上の注意及びアドバイス	①レポートは教科書、学習書に基づいて出題します。スクーリングには教科書、学習書と筆記用具を必ず持参してください。②NHK 高校講座「日本史探究」を視聴すると学習が深まります。「歴史総合」の教科書も参考にしてください。③地域の身近な歴史や世界史とのつながりにも関心を持ち、分からないことはインターネットや書籍等を活用し、積極的に調べるようにしましょう。
評価方法	次の3観点に基づいて総合的に評価します。Ⅰ知識・技能(定期考査等)…60% Ⅱ思考・判断・表現(レポート定期考査の記述内容等)…20% Ⅲ主体的に学習に取り組む態度(レポートの提出状況・内容、スクーリングの取組等)…20% ※補足:ⅡとⅢの評価は、上記レポートの提出期限を過ぎると下がります。レポートの解答に誤りが多い場合、また、内容が不十分であったり、担当教員が指導上必要と判断した場合には、再提出になります。

公 共

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）			試 験			
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数
1	第1部 第1・2章 教科書 P.8～35	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.8～83	1
2	第1部 第3章 教科書 P.36～54	5/22(水)				
3	第2部 第1章 教科書 P.55～83	6/12(水)				
4	第2部 第2章 教科書 P.84～111	8/28(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.84～157	2 (夏季・秋季あわせて)
5	第2部 第3章 教科書 P.112～133	9/11(水)				
6	第2部 第3・4章 教科書 P.134～157	9/25(水)				
7	第2部 第5章 教科書 P.158～181	10/30(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.158～211	3 (夏季・秋季 年度末あわせて)
8	第2部 第5章 教科書 P.182～193	11/20(水)				
9	第2部 まとめ、 第3部 教科書 P.194～211	12/11(水)				

スクーリングⅡ（面接指導）					
回	月	日	指 導 内 容		出席確認
1	4	28・5/1	公共的な空間をつくる私たち ～社会の中の自己～		
2	5	19・22	公共的な空間における人間としての在り方 生き方～共に生きるための倫理～		
3	6	9・12	公共的な空間における基本的原理 ～私たちの民主的な社会～		
4		23・26	民主政治と政治参加		
5	8	25・28	法の働きと私たち		
6	9	8・11	現代の経済と市場 市場経済における金融の働き		
7		22・25	財政の役割と持続可能な社会保障制度 私たちの職業生活		
8	11	17・20	国際政治の中で生きる私たち		
9	12	1・4	国際平和への課題 グローバル化する国際経済		
10		15・18	持続可能な社会づくりに参画するために		

科 目 の 目 標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決したりする態度を養う。 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会の中で主体的に生きる力と、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。
科 目 の 概 要	①現実社会の諸課題を見だし、解決に向けて選択・判断の手がかりとなる考え方や「公共的な空間」における基本原理を学びます。②政治、法、経済、職業生活、国際社会の各分野について具体的に考察・構想します。③持続可能なよりよい社会を形成する自立した主体になることに向けて、現代の諸課題を探究します。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	レポートは教科書、学習書に基づいて出題します。スクーリングは教科書、学習書と筆記用具を必ず持参してください。NHK高校講座「公共」を積極的に利用しましょう。日頃からメディアで報道される時事的な課題に関心をもち、分からないことは積極的に調べるようにしましょう。
評 価 方 法	次の3観点に基づいて総合的に評価します。Ⅰ知識・技能(定期考査等)…60% Ⅱ思考・判断・表現(レポート定期考査の記述内容等)…20% Ⅲ主体的に学習に取り組む態度(レポートの提出状況・内容、スクーリングの取組等)…20% ※補足:ⅡとⅢの評価は、上記レポートの提出期限を過ぎると下がります。レポートの解答に誤りが多い場合、また、内容が不十分であったり、担当教員が指導上必要と判断した場合には、再提出になります。

倫 理

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間】

レポート（添削指導）			試 験			
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数
1	第1章 人間の心の在り方 人間とは何か・心の動き 教科書 P.10～25	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.10～81	1
2	第2章 様々な人生観・倫理観・世界観Ⅰ ギリシャ思想・宗教・キリスト教 教科書 P.26～53	5/22(水)				
3	第2章 様々な人生観・倫理観・世界観Ⅰ イスラーム・仏教・中国思想・芸術 教科書 P.54～81	6/12(水)				
4	第3章 様々な人生観・倫理観Ⅱ 近代思想の展開・人間の尊厳 教科書 P.82～106	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.82～147	2
5	第3章 様々な人生観・倫理観Ⅱ 社会変革の思想・理性への疑念 教科書 P.107～120	9/11(水)				
6	第3章 様々な人生観・倫理観Ⅱ 人間観・言語観の問い直し/他者・自然 とのかかわり 教科書 P.121～147	9/25(水)				
7	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 日本の精神風土・仏教・儒教・国学・庶民思想 教科書 P.148～182	11/ 6(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.148～235	3
8	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 西洋思想と日本の近代化 国際社会に生きる 日本人 教科書 P.183～205	11/27(水)				
9	第2編 現代の諸課題と倫理 生命・自然・科学技術・福祉・文化と宗教・ 戦争と平和 教科書 P.206～235	12/11(水)				

スクーリングⅠ（面接指導）					
回	月	日	指 導 内 容		出席確認
1	4	21・24	倫理を学ぶということ、人間とは何か		
2	5	12・15	哲学とは何か、ギリシャ思想、キリスト教		
3		26・29	イスラーム、仏教、中国の思想、芸術		
4	6	16・19	近代と人間尊重の精神～近代思想の展開～		
5	8	18・21	人格の尊厳と人倫の思想、社会変革の思想 理性への疑念		
6	9	1・4	理性への疑念、人間観言語観の問い直し		
7		15・18	他者・自然とのかかわり/日本人の精神風土		
8	11	10・13	日本人の思想形成 ～仏教・儒教・国学・庶民の思想～		
9		24・27	西洋思想と日本人の近代化 国際社会に生きる日本人の自覚		
10	12	8・11	現代の諸課題と倫理		

科 目 の 目 標	「自己とは何か」「いかに生きるべきか」について、先哲の優れた思想を手がかりに、人間としての在り方や生き方について考え、自らの方向性を見定め、豊かな自己形成を図る力を養います。また、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者としての自覚を深めます。
科 目 の 概 要	第1章では、人間の心の在り方について、第2章では、哲学の意味、古代ギリシャ思想・世界宗教と社会・古代中国の思想・芸術について学習します。第3章では近代西洋思想を中心に、人間尊重の精神や近現代思想がどのように展開したか考察し、第4章では日本人の精神風土や日本人の思想形成の背景にある外来思想の受容等について、また、国際社会に生きる日本人の在り方について考察します。最後に、現代の諸課題として、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平等の問題を倫理的に探究します。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	倫理は人生をいかに生きるべきか、という問いについて、主体的な取組が必要な科目です。先哲の思想を学ぶほか、周りの人の意見に耳を傾けることや、自分の考えを人に伝えることで、相互理解を深めていくことも大切です。難解な用語もたくさん出てきますが、教科書や学習書を手がかりに自分で調べ、学習を進めていきましょう。NHK 高校講座「倫理」を積極的に活用してください。
評 価 方 法	次の3観点に基づいて総合的に評価します。Ⅰ知識・技能(定期考査等)…60% Ⅱ思考・判断・表現(レポート定期考査の記述内容等)…20% Ⅲ主体的に学習に取り組む態度(レポートの提出状況・内容、スクーリングの取組等)…20% ※補足:ⅡとⅢの評価は、上記レポートの提出期限を過ぎると下がります。レポートの解答に誤りが多い場合、また、内容が不十分であったり、担当教員が指導上必要と判断した場合には、再提出になります。

政治・経済

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅠ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	民主政治の基本原理 教科書 P.1～25	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.1～79	1	1	4	21・24	民主政治の基本原理 (教科書 P.1～25)	
2	日本国憲法の基本原理 教科書 P.26～65	5/22(水)					2	5	12・15	日本国憲法の基本原理・政治機構 (教科書 P.26～47)	
3	現代政治の特質と課題 教科書 P.66～79	6/12(水)					3	5	26・29	日本国憲法の基本原理・政治機構 (教科書 P.48～65)	
4	現代日本の経済 教科書 P.80～113	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.80～171	2	4	6	16・19	現代政治の特質と課題 (教科書 P.66～79)	
5	財政と日本経済の発展 教科書 P.114～141	9/11(水)					5	8	18・21	現代日本の経済 (教科書 P.80～113)	
6	雇用と労働問題 教科書 P.142～171	9/25(水)					6	9	1・4	財政と日本経済の現状 (教科書 P.114～141)	
7	現代の国際政治 教科書 P.172～203	11/ 6(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.172～254	3	7	9	15・18	雇用と労働問題・日本の諸課題 (教科書 P.142～171)	
8	現代の国際経済 教科書 P.204～235	11/27(水)					8	11	10・13	現代の国際政治 (教科書 P.172～203)	
9	国際社会の諸課題 教科書 P.236～254	12/11(水)					9	11	24・27	現代世界の国際経済 (教科書 P.204～235)	
							10	12	8・11	現代社会の諸課題 (教科書 P.236～254)	

科 目 の 目 標	政治・経済の仕組みを理解することで、世界で起きている様々な問題に対して多角的な視点から分析を行い、問題の本質を理解する能力を身に付けるとともに、それらを解決するために活動する素養を養う。
科 目 の 概 要	民主政治の基本原理・日本国憲法の基本原理・日本の政治機構・現代政治の特質と課題・現代の資本主義経済・現代経済の仕組み・日本経済の発展と現状・福祉社会と日本経済の課題・現代日本の諸課題・国際政治の仕組み・複雑化する国際政治と日本・国民経済と国際経済・世界経済の現状と課題・国際社会の諸課題
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	教科書・学習書をよく読んでからレポートを解いてください。定期試験はレポートを中心に出题されますが、時事問題も出題されますので、新聞やニュースなどもよく見ておいてください。スクーリングは教科書を持参すること。NHK 高校講座「政治・経済」も利用して学習してください。
評 価 方 法	次の3観点に基づいて総合的に評価します。Ⅰ知識・技能(定期考査等)…60% Ⅱ思考・判断・表現(レポート・定期考査の記述内容等)…20% Ⅲ主体的に学習に取り組む態度(レポートの提出状況・内容、スクーリングの取組等)…20% ※補足:ⅡとⅢの評価は、上記レポートの提出期限を過ぎると下がります。レポートの解答に誤りが多い場合、また、内容が不十分であったり、担当教員が指導上必要と判断した場合には、再提出になります。

数 学 I

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I・II（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	文字と式 教科書 P.32～41	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～2回 教科書 P.32～57	1	1	4	21・24	多項式の計算(1)	
2	因数分解 実数 教科書 P.42～57	5/29(水)					2	4	28・5/1	多項式の計算(2)	
3	方程式と不等式 教科書 P.58～71	6/26(水)		秋 季	レポート 第3～6回 教科書 P.58～101 P.150～160	2 (夏季・秋季あわせて)	3	5	12・15	因数分解	
4	集合と論証 教科書 P.150～160	8/21(水)					4	5	19・22	実数	
5	2次関数とそのグラフ 教科書 P.74～95	9/11(水)					5	5	26・29	1次不等式	
6	2次関数のグラフと2次方程式・ 2次不等式 教科書 P.96～101	9/25(水)					6	6	9・12	2次方程式	
7	鋭角の三角比 教科書 P.104～116	11/20(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.104～141	3 (夏季・秋季・年度末あわせて)	7	6	16・19	命題と集合	
8	三角比の応用 教科書 P.117～127	12/11(水)					8	6	23・26	命題と証明	
9	データの分析 教科書 P.130～141	12/18(水)					9	8	18・21	2次関数とそのグラフ(1)	
							10	8	25・28	2次関数とそのグラフ(2)	
							11	9	1・4	2次関数の最大値・最小値	
							12	9	8・11	2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式(1)	
							13	9	15・18	2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式(2)	
							14	9	22・25	鋭角の三角比	
							15	11	10・13	三角比の利用・相互関係	
							16	11	17・20	三角形の面積・正弦定理	
							17	11	24・27	余弦定理	
							18	12	1・4	鈍角の三角比	
							19	12	8・11	データの分析	
							20	12	15・18	まとめ（復習・補足）	

科 目 の 目 標	数と式・2次関数・三角比及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得を図る。また、それらを活用する能力を伸ばすとともに、物事を論理的に考える姿勢を身に付ける。
科 目 の 概 要	式の展開と因数分解・方程式と不等式について、中学校より拡充された内容を扱います。2次関数・2次方程式・2次不等式との関連などを学習します。三角比やデータの分析を通して数学の実用性を知り、数学的な見方、考え方を認識できるようにします。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	教科書・学習書をよく読み、類似の問題を参考にしてください。予習した上でスクーリングに出席すれば、より理解が深まります。
評 価 方 法	観点別評価：知識・技能は定期試験(80%)、思考・判断・表現はレポートの記述(10%)、主体的に学習に取り組む態度はスクーリングへの意欲および取り組む態度(10%)等を総合的に評価します。レポートは上記の提出期限を過ぎると評価に影響します。

数 学 II

【 4単位 レポート提出回数：12回 必要面接時間数：4時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	式の計算・2次方程式 教科書 P.4～19	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.4～51	2	1	4	21・24	式の計算・2次方程式・高次方程式	
2	高次方程式・式と証明 教科書 P.20～29	5/22(水)					2	5	12・15	式と証明・座標と直線の方程式	
3	座標と直線の方程式 教科書 P.34～51	6/12(水)					3	5	26・29	円の方程式・軌跡と領域	
4	円の方程式・軌跡と領域 教科書 P.52～63	6/26(水)		秋 季	レポート 第4～8回 教科書 P.52～103	3	4	6	16・19	三角関数	
5	三角関数 教科書 P.66～77	8/21(水)					5	8	18・21	指数関数	
6	加法定理・弧度法 教科書 P.78～83	8/21(水)					6	9	1・4	対数関数	
7	指数関数 教科書 P.86～95	9/ 4(水)					7	9	15・18	微分係数と導関数	
8	対数関数 教科書 P.96～103	9/18(水)		年 度 末	レポート 第9～12回 教科書 P.106～132	4	8	11	10・13	導関数の応用	
9	微分係数と導関数 教科書 P.106～115	11/13(水)					9	11	24・27	不定積分・定積分	
10	導関数の応用 教科書 P.116～122	11/27(水)					10	12	8・11	面積	
11	不定積分・定積分 教科書 P.124～129	12/ 4(水)									
12	定積分・面積 教科書 P.128～132	12/18(水)									

科 目 の 目 標	高次方程式、式と証明、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考え方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する。
科 目 の 概 要	数学 I の内容を発展、拡充させるとともに広い数学的資質・能力の育成を目指します。方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分と積分について学習します。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	各スクーリングで扱う内容は各レポートに対応しているため、できるだけ対応しているレポートを持参してスクーリングに出席してください。また履修するうえで数学 A を履修していることが望ましいです。
評 価 方 法	観点別評価：知識・技能は定期試験(80%)、思考・判断・表現はレポートの記述(10%)、主体的に学習に取り組む態度はスクーリングへの意欲および取り組む態度(10%)等を総合的に評価します。レポートは上記の提出期限を過ぎると評価に影響します。

数学 A

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：3時間 】

レポート(添削指導)				試 験			スクーリングⅡ(面接指導)				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	集合、和の法則、積の法則 教科書 P.3～11	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～2回 教科書 P.4～23	1	1	4	28・5/1	集合、和の法則、積の法則	
2	順列、組合せ 教科書 P.12～21	5/29(水)					2	5	19・22	順列、組合せ	
3	事象と確率、確率の計算 教科書 P.22～29	6/26(水)		秋 季	レポート 第3～6回 教科書 P.24～59	2 (夏季・秋季あわせて)	3	6	9・12	事象と確率、確率の計算	
4	独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率 教科書 P.30～37	8/21(水)					4		23・26	独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率	
5	三角形の性質 教科書 P.50～57	9/ 4(水)					5	8	25・28	三角形の性質	
6	円の性質(1) 教科書 P.58～63	9/18(水)					6	9	8・11	円の性質(1)	
7	円の性質(2) 教科書 P.64～69	11/13(水)		7	22・25	円の性質(2)					
8	2進数と10進数 教科書 P.82～83	11/27(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.64～69 P.82～83 P.86～91	3 (夏季・秋季・年度末あわせて)	8	11	17・20	2進数と10進数	
9	約数と倍数 教科書 P.86～91	12/11(水)					9	12	1・4	約数と倍数	
							10		15・18	基本事項の復習・補足	

科 目 の 目 標	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する。
科 目 の 概 要	順列・組合せや確率について理解し、不確定な事ごらを数量的にとらえ、処理できるようにします。整数の性質では、整数に関する性質についての理解を深め、いろいろな事象の考察に活用します。図形の性質では平面図形を扱います。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	予習・復習をしてください。スクーリングにレポートを持参すれば、より分かりやすくスムーズにレポート提出ができます。余裕をもってレポートに取り組み、期限内に提出するようにしましょう。
評 価 方 法	観点別評価：知識・技能は定期試験(80%)、思考・判断・表現はレポートの記述(10%)、主体的に学習に取り組む態度はスクーリングへの意欲および取り組む態度(10%)等を総合的に評価します。レポートは上記の提出期限を過ぎると評価に影響します。

科学と人間生活 【3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 教科書 P.14～36	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.14～64	4	1	4	21・24	様々な微生物	
2	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 教科書 P.38～51	5/29(水)					2	4	28・5/1	私たちの暮らしへの微生物の利用	
3	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 教科書 P.52～63	6/12(水)					3	5	12・15	ヒトの視覚と光による影響	
4	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 教科書 P.66～92	7/24(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.66～137	8	4	5	19・22	血糖濃度を調節する仕組み	
5	2章 衣料と食品 教科書 P.94～114	9/4(水)					5	5	26・29	体を守る免疫のしくみ	
6	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 教科書 P.116～137	9/18(水)					6	6	9・12	生命現象の大もととなる遺伝子の働き	
7	2章 熱の性質とその利用 教科書 P.140～157	10/30(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.140～207	12	7	6	16・19	リサイクルとは何か、金属の性質とその利用	
8	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 教科書 P.160～179	11/6(水)					8	6	23・26	プラスチックの性質とその再利用	
9	4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害 教科書 P.182～207	12/11(水)					9	8	18・21	衣料の科学	
							10	8	25・28	食品の科学	
							11	9	1・4	光の進み方とその見え方	
							12		8・11	目に見える光と色の見え方・目に見えない光とその利用	
							13		15・18	熱とは何か	
							14	11	22・25	エネルギーの利用と私たちの暮らし	
							15		10・13	太陽と月がつくる暦	
							16		17・20	太陽が動かす大気と水①	
							17	12	24・27	太陽が動かす大気と水②	
							18		1・4	身近な自然景観の成り立ち①	
							19		8・11	身近な自然景観の成り立ち②	
							20		15・18	自然災害と防災	

科目の目標	「自然と人間生活とのかかわり」、「科学技術が人間生活に果たしてきた役割」を学ぶ中で、科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高める。
科目の概要	(1)科学技術の発展 (2)人間生活の中の科学 (3)これからの科学と人間生活 の3項目から構成されています。特に、(2)人間生活の中の科学では「光や熱の科学」「物質の科学」「生命の科学」「宇宙や地球の科学」の項目を学習します。この学習を通して科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めてください。
履修上の注意及びアドバイス	レポートの内容は、スクーリングでも取り上げて学習しますので、できるだけ出席するように心がけてください。また、全20時間のうち、半分近くが夏季休業の前までに集中しています。夏季休業の前までに1時間でも多く出席して必要面接時間数を充たしてください。
評価方法	絶対評価:定期考査80点、レポートの提出状況等15点、授業点5点で評価。 観点別評価:知識A 定期考査85点以上、B50～84点、C49点以下。思考(レポートの平均点の2倍。ただし評価がすべて2のものは2倍にしない) A8～10点、B5～7点、C4点以下。主体(授業態度5点とレポートの提出状況5点) A8～10点、B5～7点、C4点以下。

物理基礎

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）			試験			
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数
1	巻頭 物理量の表し方 1編1章 直線運動の世界① 教科書 P.10～25	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.12～61	4
2	1編1章 直線運動の世界② 2章 力と運動の法則① 教科書 P.26～39	5/29(水)				
3	2章 力と運動の法則② 教科書 P.40～59	6/19(水)				
4	2章 力と運動の法則③ 教科書 P.60～69	7/24(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.62～109	8
5	3章 力学的エネルギー 教科書 P.74～93	9/11(水)				
6	2編1章 熱 教科書 P.94～107	9/25(水)				
7	2章 波 教科書 P.108～133	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.110～191	12
8	3章 電気 教科書 P.134～155	11/27(水)				
9	4章 エネルギーとその利用 教科書 P.156～181	12/11(水)				

スクーリング I・II（面接指導）					
回	月	日	指導内容		出席確認
1	4	21・24	運動の表し方、変位と速度、等速直線運動		
2		28・5/1	合成速度と相対速度、等加速度直線運動		
3	5	12・15	自由落下運動、鉛直・水平投射		
4		19・22	力とつり合い、力の合成と分解		
5		26・29	垂直抗力と弾性力、慣性の法則		
6	6	9・12	運動の法則、作用・反作用の法則		
7		16・19	動摩擦力・静止摩擦力とその性質		
8	8	23・26	空気の抵抗力、水圧と浮力、運動方程式		
9		18・21	仕事と仕事率		
10	9	25・28	運動エネルギーと位置エネルギー		
11		1・4	力学的エネルギーの保存といろいろな運動		
12		8・11	温度と熱、熱と物質、熱の移動と保存		
13		15・18	熱と仕事、熱機関と不可逆変化		
14	11	22・25	波の表し方、横波と縦波		
15		10・13	波の重ね合わせ、定在波、波の反射		
16		17・20	電気と電気抵抗、直列・並列接続		
17	12	24・27	電力量と磁場、直流と交流、電磁波		
18		1・4	エネルギーの変換と保存、原子核のエネルギー		
19	12	8・11	放射線の利用と安全性、エネルギーの利用と課題		
20		15・18	総合まとめ問題にチャレンジ		

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
科目の概要	1編 物体の運動とエネルギー 2編 さまざまな物理現象とエネルギー の2編で構成され、物体の運動など身近な物理現象や様々なエネルギーについて学ぶ。
履修上の注意及びアドバイス	レポートの内容は、スクーリングでも取り上げて学習しますのでできるかぎり出席するように心がけてください。また、スクーリング全20時間のうち、半分近くが夏季休業の前までに集中しています。 ※年間必要面接時間数が12と多いので、できるだけ夏季休業までにスクーリングに出席するようにしてください。
評価方法	絶対評価：定期考査80点、レポートの提出状況等15点、授業点5点で評価。 観点別評価：知識A 定期考査85点以上、B50～84点、C49点以下。思考(レポートの平均点の2倍。ただし評価がすべて2のものは2倍にしない) A8～10点、B5～7点、C4点以下。主体(授業態度5点とレポートの提出状況5点) A8～10点、B5～7点、C4点以下。

化学基礎

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート (添削指導)				試 験			スクーリング I・II (面接指導)				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	1-2章 物質の成分と構成元素 教科書 P.12 ~ 33	5/15(水)		夏 季	レポート 第1~3回 教科書 P.12 ~ 59	4	1	4	21・24	物質の成分・物質の構成元素①	
2	2-1章 原子の構造と元素の周期表 2-2章 化学結合 教科書 P.36 ~ 51	5/29(水)					2	4	28・5/1	物質の構成元素②・物質の三態	
3	2-2章 化学結合 教科書 P.52 ~ 59	6/19(水)					3		12・15	原子の構造・電子配置と周期表①	
4	2-2章 化学結合 1-3章 金属と金属結合 教科書 P.60 ~ 79	7/24(水)		秋 季	レポート 第4~6回 教科書 P.60 ~ 105	8	4	5	19・22	電子配置と周期表②・イオンとイオン結合①	
5	3-1章 物質量と化学反応式 教科書 P.82 ~ 91	9/11(水)					5		26・29	イオンとイオン結合②	
6	3-1章 物質量と化学反応式 教科書 P.92 ~ 105	9/25(水)					6	6	9・12	分子と共有結合①	
7	3-2章 酸と塩基 教科書 P.106 ~ 119	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7~9回 教科書 P.106 ~ 167	12	7	6	16・19	分子と共有結合②	
8	3-2章 酸と塩基 教科書 P.120 ~ 135	11/27(水)					8	6	23・26	金属結合・化学結合と物質の分類	
9	3-3章 酸化還元反応 教科書 P.136 ~ 167	12/11(水)					9	8	18・21	原子量・分子量・式量	
							10	8	25・28	物質量①	
							11	9	1・4	物質量②	
							12		8・11	溶液の濃度・化学反応の表し方	
							13		15・18	化学反応式の表す量的関係	
							14		22・25	酸と塩基①	
							15	11	10・13	酸と塩基②・水素イオン濃度と pH	
							16	11	17・20	中和反応と塩の生成	
							17		24・27	中和滴定	
							18		1・4	酸化と還元	
							19	12	8・11	酸化剤と還元剤・金属の酸化還元反応	
							20		15・18	酸化還元反応の応用	

- 11 -

科目の目標	物質とその変化について、日常生活や社会との関わりを意識しながら、関心を高め、化学的に探究する能力を育てることと、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養うことを目標にしています。
科目の概要	1編 化学と人間生活 2編 物質の構成 3編 物質の変化の3つの編より構成され、物質の基本的な構造や量的取扱い、基本的な化学変化を学ぶ。
履修上の注意及びアドバイス	レポートの内容は、スクーリングでも取り上げて学習しますのでできるかぎり出席するように心がけてください。また、スクーリング全20時間のうち、半分近くが夏季休業の前までに集中しています。 ※年間必要面接時間数が12と多いので、できるだけ夏季休業までにスクーリングに出席するようにしてください。
評価方法	絶対評価:定期考査80点、レポートの提出状況等15点、授業点5点で評価。 観点別評価:知識 A 定期考査85点以上、B50~84点、C49点以下。思考(レポートの平均点の2倍。ただし評価がすべて2のものは2倍にしない) A8~10点、B5~7点、C4点以下。主体(授業態度5点とレポートの提出状況5点) A8~10点、B5~7点、C4点以下。

生物基礎

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試験			スクーリング I・II（面接指導）					
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認	
1	第1章第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 教科書 P.14～37	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.14～61	4	1	4	21・24	生物の多様性と共通性		
2	第1章第3節 呼吸と光合成 教科書 P.38～47	5/29(水)					2	4	28・5/1	エネルギーと代謝		
3	第2章第1節 遺伝情報とDNA 教科書 P.54～61	6/19(水)					3	5	12・15	呼吸と光合成①		
4	第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現 教科書 P.62～81	7/24(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.62～107	8	4	5	19・22	呼吸と光合成②		
5	第3章第1節 体内での情報伝達と調節 教科書 P.86～97	9/11(水)					5	5	26・29	遺伝情報とDNA		
6	第2節 体内環境の維持の仕組み 教科書 P.98～107	9/25(水)					6	6	9・12	遺伝情報の複製と分配		
7	第3節 免疫の働き 教科書 P.108～121	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.108～164	12	7	6	16・19	遺伝情報の発現①		
8	第4章第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 教科書 P.126～145	12/4(水)					8	6	23・26	遺伝情報の発現②		
9	第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全 教科書 P.146～164	12/11(水)					9	8	18・21	体内での情報伝達と調節①		
							10	8	25・28	体内での情報伝達と調節②		
							11	9	1	4	体内での情報伝達と調節③	
							12		8・11	体内環境の維持の仕組み①		
							13		15・18	体内環境の維持の仕組み②		
							14	11	22・25	免疫の働き①		
							15		10・13	免疫の働き②		
							16		17・20	植生と遷移		
							17	12	24・27	植生の分布とバイオーム		
							18		1・4	生態系と生物の多様性		
							19		8・11	生態系のバランスと保全		
							20	15・18	総合問題			

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
科目の概要	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 第3章 ヒトの体内環境の維持 第4章 生物の多様性と生態系 以上4章からなる
履修上の注意及びアドバイス	レポートの内容は、スクーリングでも取り上げて学習しますのでできるかぎり出席するように心がけてください。また、スクーリング全20時間のうち、半分近くが夏季休業の前までに集中しています。 ※年間必要面接時間数が12と多いので、できるだけ夏季休業までにスクーリングに出席するようにしてください。
評価方法	絶対評価：定期考査80点、レポートの提出状況等15点、授業点5点で評価。 観点別評価：知識A定期考査85点以上、B50～84点、C49点以下。思考(レポートの平均点の2倍。ただし評価がすべて2のものは2倍にしない) A8～10点、B5～7点、C4点以下。主体(授業態度5点とレポートの提出状況5点) A8～10点、B5～7点、C4点以下。

地学基礎

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I・II（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	1章 地球のすがた 教科書 P.6～21	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.6～49	4	1	4	21・24	地球の形と大きさ・地球の内部構造	
2	1章 地球のすがた 2章 地球の活動 教科書 P.22～39	5/29(水)					2	4	28・5/1	地球内部の動き・プレートの分布と運動・プレートの境界	
3	2章 地球の活動 教科書 P.40～49	6/12(水)					3	5	12・15	地殻の変動と地質運動・変成作用・大地形の形成	
4	2章 地球の活動 教科書 P.50～59	7/24(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.50～99	8	4	5	19・22	地震の発生と分布・地震波の伝わり方	
5	3章 大気と海洋 教科書 P.72～83	9/4(水)					5	5	26・29	日本付近で発生する地震①②	
6	3章 大気と海洋 教科書 P.86～99	9/18(水)					6	6	9・12	火山の分布・火山の形成とマグマ	
7	4章 宇宙と地球 教科書 P.108～135	11/6(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.108～183	12	7	6	16・19	火山の噴火・火山の地形	
8	5章 生物の変遷と地球環境 教科書 P.142～153	11/27(水)					8	6	23・26	火成岩の形成・火成岩の種類	
9	5章 生物の変遷と地球環境 6章 地球の科学 教科書 P.156～183	12/11(水)					9	8	18・21	大気構成と特徴①②	
							10	8	25・28	対流圏における水の変化・太陽放射と地球放射	
							11	9	1・4	エネルギー収支の緯度分布・風・大気の大循環①②	
							12		8・11	海洋の構造・海洋の大循環	
							13		15・18	宇宙の始まり①②・太陽の誕生	
							14	9	22・25	太陽の活動・太陽系の構造・太陽系の惑星	
							15	11	10・13	地層の形成・地層の重なりと広がり	
							16	11	17・20	堆積岩・化石と地質時代①②	
							17	11	24・27	先カンブリア時代①②・古生代①	
							18	12	1・4	古生代②・中生代・新生代①	
							19	12	8・11	新生代②・地球環境の科学	
							20	12	15・18	日本の自然環境	

科目の目標	地球科学に対する関心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し科学的な自然観を育成する。
科目の概要	第1部 地球の構成、第2部 地球の変動の2部で構成されており、現在の地球のすがたや地球の変動の歴史としくみについて学ぶ。
履修上の注意及びアドバイス	レポートの内容は、スクーリングでも取り上げて学習しますのでできるかぎり出席するように心がけてください。また、スクーリング全20時間のうち、半分近くが夏季休業の前までに集中しています。 ※ 年間必要面接時間数が12と多いので、夏季休業の前までに1時間でも多く出席して必要面接時間数を満たしてください。
評価方法	絶対評価:定期考査80点、レポートの提出状況等15点、授業点5点で評価。 観点別評価:知識A定期考査85点以上、B50～84点、C49点以下。思考(レポートの平均点の2倍。ただし評価がすべて2のものは2倍にしない) A8～10点、B5～7点、C4点以下。主体(授業態度5点とレポートの提出状況5点) A8～10点、B5～7点、C4点以下。

化 学

【 4単位 レポート提出回数：12回 必要面接時間数：16時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I・II（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	第1編 物質の状態 第1章 個体の構造 教科書 P.6～23	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～4回 教科書 P.6～69	6	1	4	21・24	個体の構造	
2	第2章 物質の状態変化 教科書 P.24～34	5/22(水)					2	4	28・5/1	物質の状態変化	
3	第3章 気体 教科書 P.35～47	5/29(水)					3	5	12・15	気体①	
4	第4章 溶液 教科書 P.48～69	6/19(水)					4	5	19・22	気体②	
5	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 教科書 P.72～88	7/24(水)		秋 季	レポート 第5～8回 教科書 P.72～145	11	5	6	9・12	化学反応とエネルギー①	
6	第2章 電池と電気分解 教科書 P.89～103	8/28(水)					6	6	16・19	化学反応とエネルギー②	
7	第3章 化学反応の速さとしくみ 教科書 P.104～117	9/11(水)					7	6	23・26	電池と電気分解①	
8	第4章 化学平衡 教科書 P.118～145	9/25(水)					8	8	18・21	電池と電気分解②	
9	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 教科書 P.148～171	11/13(水)		年 度 末	レポート 第9～12回 教科書 P.148～267	16	9	8	25・28	化学反応の速さとしくみ①	
10	第2章 金属元素(I) 第3章 金属元素(II) 教科書 P.172～203	11/27(水)					10	8	1・4	化学反応の速さとしくみ②	
11	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 教科書 P.206～225	12/11(水)					11	9	8・11	化学平衡①	
12	第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物 教科書 P.226～267	12/18(水)					12	9	15・18	化学平衡②	
							13	9	22・25	非金属元素	
							14	11	10・13	金属元素①	
							15	11	17・20	金属元素②	
							16	11	24・27	有機化合物の分類と分析	
							17	12	1・4	脂肪族炭化水素	
							18	12	8・11	アルコールと関連化合物	
							19	12	15・18	芳香族化合物	
							20	12			

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら化学への関心を高め、目的意識をもって実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
科目の概要	第1編 物質の状態 第2編 物質の変化 第3編 無機物質 第4編 有機化合物 以上4編からなる
履修上の注意及びアドバイス	レポート内容は、スクーリングでも取り上げて学習するので、できる限り出席のこと。また、他教科と違い必面が16回と多く、視聴票もないので、全部出席するつもりでないと履修するのは難しい。
評価方法	絶対評価：定期考査80点、レポートの提出状況等15点、授業点5点で評価。 観点別評価：知識A 定期考査85点以上、B 50～84点、C 49点以下。思考(レポートの平均点の2倍。ただし評価がすべて2のものは2倍にしない) A 8～10点、B 5～7点、C 4点以下。主体(授業態度5点とレポートの提出状況5点) A 8～10点、B 5～7点、C 4点以下。

体育1 男・女 【2単位 レポート提出回数：2回 必要面接時間数：10時間】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	1 単元 01・02 スポーツの発祥と発展 教科書 P.136～143 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	5/16(木)		夏 季	レポート 第1回	3	1	4	21・24	学習の始めに（体育館）	
							2	4	28・5/1	男：運動場 女：体育館	
							3	5	12・15	男：運動場 女：体育館	
							4	5	19・22	男：運動場 女：体育館	
							5	5	26・29	男：運動場 女：体育館	
							6	6	9・12	男：運動場 女：体育館	
							7	6	16・19	男：運動場 女：体育館	
							8	6	23・26	男：運動場 女：体育館・水泳	
2	1 単元 03・04 スポーツの発祥と発展 教科書 P.144～149 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	11/21(木)		年 度 末	レポート 第2回	10 (夏季・年度末あわせて)	9	8	18・21	男：運動場・水泳 女：体育館	
							10	8	25・28	男：運動場 女：体育館・水泳	
							11	9	1・4	男：運動場・水泳 女：体育館	
							12	9	8・11	男：運動場 女：体育館	
							13	9	15・18	男：運動場 女：体育館	
							14	9	22・25	男：運動場 女：体育館	
							15	11	10・13	男：運動場 女：体育館	
							16	11	17・20	男：運動場 女：体育館	
							17	11	24・27	男：運動場 女：体育館	
							18	12	1・4	男：運動場 女：体育館	
							19	12	8・11	男：運動場 女：体育館	
							20	12	15・18	男：運動場 女：体育館	

科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる素質や能力を育てる。
科目の概要	変化する現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解できるとともに、各種目の競技の規則や特性、独自の技術、戦術を十分理解し、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解できるようにする。
履修上の注意及びアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングについて…①実施場所は毎時間掲示板で確認してください。(天候・気温・グラウンドコンディション等により決定します) ②チャイムと同時に始まりますので、休み時間の内に実施場所に移動しましょう。③動きやすい服装で参加してください。④男子は運動靴、女子は体育館シューズを準備してください。⑤水泳は選択制とします。 ・レポートについて…①提出期限を守りましょう。(上記の提出期限を過ぎるとレポート評価は下がります) ②解答に誤りが多い場合、また内容が不十分等の場合には再提出になります。・定期試験について…秋季試験はありません。
評価方法	次の3観点により総合的に評価します。【①知識・技能(定期考査)…70% ②思考力・判断力・表現力(レポート記述問題等の評価)…10% ③主体的に学習に取り組む態度(レポート評価・スクーリングにおける実技参加状況等)…20%】

体育2 男・女 【2単位 レポート提出回数：2回 必要面接時間数：10時間】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	1 単元 05・06 スポーツの発祥と発展 教科書 P.150～156 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	5/16(木)		夏 季	レポート 第1回	3	1	4	21・24	学習の始めに（体育館）	
							2	4	28・5/1	男：運動場 女：体育館	
							3	5	12・15	男：運動場 女：体育館	
							4	5	19・22	男：運動場 女：体育館	
							5	5	26・29	男：運動場 女：体育館	
							6	6	9・12	男：運動場 女：体育館	
							7	6	16・19	男：運動場 女：体育館	
							8	6	23・26	男：運動場 女：体育館・水泳	
							9	8	18・21	男：運動場・水泳 女：体育館	
							10	8	25・28	男：運動場 女：体育館・水泳	
2	2 単元 01・02 運動・スポーツの学び方 教科書 P.158～163 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	11/21(木)		年 度 末	レポート 第2回	10 (夏季・年度末あわせて)	11	9	1・4	男：運動場・水泳 女：体育館	
							12	9	8・11	男：運動場 女：体育館	
							13	9	15・18	男：運動場 女：体育館	
							14	9	22・25	男：運動場 女：体育館	
							15	11	10・13	男：運動場 女：体育館	
							16	11	17・20	男：運動場 女：体育館	
							17	11	24・27	男：運動場 女：体育館	
							18	12	1・4	男：運動場 女：体育館	
							19	12	8・11	男：運動場 女：体育館	
							20	12	15・18	男：運動場 女：体育館	

科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる素質や能力を育てる。
科目の概要	運動にはそれぞれ歴史・文化的に形成された意義、独自の技術・戦略及び規則があることを理解できるようにする。また、各種目の競技の規則や特性、独自の技術・戦術を十分理解し、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解できるようにする。
履修上の注意及びアドバイス	・スクーリングについて…①実施場所は毎時間掲示板で確認してください。(天候・気温・グラウンドコンディション等により決定します。) ②チャイムと同時に始まりますので、休み時間の内に実施場所に移動しましょう。 ③動きやすい服装で参加してください。 ④男子は運動靴、女子は体育館シューズを準備してください。 ⑤水泳は選択制とします。 ・レポートについて…①提出期限を守りましょう。(上記の提出期限を過ぎるとレポート評価は下がります。) ②解答に誤りが多い場合、また内容が不十分等の場合には再提出になります。 ・定期試験について…秋季試験はありません。
評価方法	次の3観点により総合的に評価します。【①知識・技能(定期考査)…70% ②思考力・判断力・表現力(レポート記述問題等の評価)…10% ③主体的に学習に取り組む態度(レポート評価・スクーリングにおける実技参加状況等)…20%】

体育3-2 男・女 【2単位 レポート提出回数：2回 必要面接時間数：10時間】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	2 単元 03・04 運動・スポーツの学び方 教科書 P.164～171 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	5/16(木)		夏 季	レポート 第1回	3	1	4	21・24	学習の始めに（体育館）	
							2		28・5/1	男：運動場 女：体育館	
2	2 単元 05・06 運動・スポーツの学び方 教科書 P.172～180 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	11/21(木)		年 度 末	レポート 第2回	10 (夏季・年度末あわせて)	3	5	12・15	男：運動場 女：体育館	
							4		19・22	男：運動場 女：体育館	
							5	6	26・29	男：運動場 女：体育館	
							6		9・12	男：運動場 女：体育館	
							7	8	16・19	男：運動場 女：体育館	
							8		23・26	男：運動場 女：体育館・水泳	
							9	9	18・21	男：運動場・水泳 女：体育館	
							10		25・28	男：運動場 女：体育館・水泳	
							11	11	1・4	男：運動場・水泳 女：体育館	
							12		8・11	男：運動場 女：体育館	
13	12	15・18	男：運動場 女：体育館								
14		22・25	男：運動場 女：体育館								
15	12	10・13	男：運動場 女：体育館								
16		17・20	男：運動場 女：体育館								
17	12	24・27	男：運動場 女：体育館								
18		1・4	男：運動場 女：体育館								
19	12	8・11	男：運動場 女：体育館								
20		15・18	男：運動場 女：体育館								

科 目 の 目 標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる素質や能力を育てる。
科 目 の 概 要	自己の体に気づき、体の調子を整えたり、生活に応じて体力を高めるための課題を把握し、トレーニングの方法など、その高め方について実践的に理解できるようにする。また、各種目の競技の規則や特性、独自の技術・戦術を十分理解し、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解できるようにする。
履 修 上 の 注 意 及 び ア ド バ イ ス	・スクーリングについて…①実施場所は毎時間掲示板で確認してください。(天候・気温・グラウンドコンディション等により決定します。) ②チャイムと同時に始めますので、休み時間の内に実施場所に移動しましょう。③動きやすい服装で参加してください。 ④男子は運動靴、女子は体育館シューズを準備してください。 ⑤水泳は選択制とします。 ・レポートについて…①提出期限を守りましょう。(上記の提出期限を過ぎるとレポート評価は下がります。) ②解答に誤りが多い場合、また内容が不十分等の場合には再提出になります。 ・定期試験について…秋季試験はありません。
評 価 方 法	次の3観点により総合的に評価します。【①知識・技能(定期考査)…70% ②思考力・判断力・表現力(レポート記述問題等の評価)…10% ③主体的に学習に取り組む態度(レポート評価・スクーリングにおける実技参加状況等)…20%】

体育3-3 男・女 【3単位 レポート提出回数：3回 必要面接時間数：15時間】

レポート(添削指導)				試験			スクーリングⅠ・Ⅱ(面接指導)					
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認	
1	2 単元 03・04 運動・スポーツの学び方 教科書 P.164～171 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	5/16(木)		夏 季	レポート 第1回	4	1	4	21・24	学習の始めに(体育館)		
							2		28・5/1	男：運動場 女：体育館		
							3	5	12・15	男：運動場 女：体育館		
4	19・22	男：運動場 女：体育館										
5	26・29	男：運動場 女：体育館										
6	6	9・12	男：運動場 女：体育館									
7		16・19	男：運動場 女：体育館									
8	8	23・26	男：運動場 女：体育館・水泳									
9		18・21	男：運動場・水泳 女：体育館									
10	25・28	男：運動場 女：体育館・水泳										
11	9	1・4	男：運動場・水泳 女：体育館									
12		8・11	男：運動場 女：体育館									
13		15・18	男：運動場 女：体育館									
14	11	22・25	男：運動場 女：体育館									
15		10・13	男：運動場 女：体育館									
16	17・20	男：運動場 女：体育館										
17	12	24・27	男：運動場 女：体育館									
18		1・4	男：運動場 女：体育館									
19	20	8・11	男：運動場 女：体育館									
20		15・18	男：運動場 女：体育館									
2	2 単元 05・06 運動・スポーツの学び方 教科書 P.172～180 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	9/26(木)		年 度 末	レポート 第2～3回	(夏 季・年 度 末 あ わ せ て) 15						
3	3 単元 01～04 豊かなスポーツライフの設計 教科書 P.182～195 ※レポートは、教科書・参考資料等を使用して取り組んでください。	11/21(木)										

科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め、楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる素質や能力を育てる。
科目の概要	運動技能を構造的に理解するとともに、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための課題を把握し、トレーニングの方法など、その高め方について実践的に理解できるようにする。また、各種目の競技の規則や特性、独自の技術・戦術を十分理解し、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解できるようにする。
履修上の注意及びアドバイス	・スクーリングについて…①実施場所は毎時間掲示板で確認してください。(天候・気温・グラウンドコンディション等により決定します。) ②チャイムと同時に始まりますので、休み時間の内に実施場所に移動しましょう。③動きやすい服装で参加してください。④男子は運動靴、女子は体育館シューズを準備してください。⑤水泳は選択制とします。 ・レポートについて…①提出期限を守りましょう。(上記の提出期限を過ぎるとレポート評価は下がります。) ②解答に誤りが多い場合、また内容が不十分等の場合には再提出になります。・定期試験について…秋季試験はありません。
評価方法	次の3観点により総合的に評価します。【①知識・技能(定期考査)…70% ②思考力・判断力・表現力(レポート記述問題等の評価)…10% ③主体的に学習に取り組む態度(レポート評価・スクーリングにおける実技参加状況等)…20%】

保健 1

【 1単位 レポート提出回数：3回 必要面接時間数：1時間 】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅠ（面接指導）					
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認	
1	1 単元 現代社会と健康 01～08 教科書 P.6～25	5/16(木)		夏 季	レポート 第1回	1	1	4	21・24	1 単元 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた		
							2	5	12・15	1 単元 03 生活習慣病の予防と回復		
							3	5	26・29	1 単元 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復		
4	6	16・19	1 単元 06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養・睡眠と健康									
5	8	18・21	1 単元 09 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康									
6	9	1・4	1 単元 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復									
7	9	15・18	1 単元 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防									
8	11	10・13	1 単元 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり									
9	11	24・27	2 単元 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全									
10	12	8・11	2 単元 04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当 06 心肺蘇生法									
2	1 単元 現代社会と健康 09～17 教科書 P.28～49	9/26(木)		年 度 末	レポート 第2～3回							
3	1 単元 現代社会と健康 18～19 2 単元 安全な社会生活 01～06 教科書 P.52～73	11/21(木)										

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための能力を身に付ける。
科目の概要	1 単元では、現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方等について学習します。 2 単元では、応急手当・心肺蘇生法の知識や技能、また交通事故・自然災害・防犯への備えなど安全な社会づくりについて学習します。
履修上の注意及びアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> スクーリングでは、最初に学習の目当てを示します。それを手がかりに、資料・教科書・学習書を参考にして積極的に学習しましょう。 レポートの提出期限を守りましょう。（上記の提出期限を過ぎるとレポート評価は下がります。） レポートの解答に誤りが多い場合、また内容が不十分等の場合には再提出になります。 ・秋季試験はありません。
評価方法	次の3観点により総合的に評価します。 【①知識・技能(定期考査)…80% ②思考力・判断力・表現力(レポート記述問題等の評価)…10% ③主体的に学習に取り組む態度(レポート評価等)…10%】

保健 2

【 1単位 レポート提出回数：3回 必要面接時間数：1時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	3単元 生涯を通じる健康 01～08 教科書 P.76～93	5/16(木)		夏 季	レポート 第1回	1	1	4	28・5/1	3単元 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康	
2	3単元 生涯を通じる健康 09～10 4単元 健康を支える環境づくり 01～04 教科書 P.94～107	9/26(木)		年 度 末	レポート 第2～3回		2	5	19・22	3単元 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康	
3	4単元 健康を支える環境づくり 05～11 教科書 P.110～127	11/21(木)					3	6	9・12	3単元 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康	
							4	6	23・26	3単元 07 中高年期と健康 08 働くことと健康	
							5	8	25・28	3単元 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	
							6	9	8・11	4単元 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康	
							7	9	22・25	4単元 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備	
							8	11	17・20	4単元 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動	
							9	12	1・4	4単元 07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用	
							10	12	15・18	4単元 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	

科 目 の 目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための能力を身に付ける。
科 目 の 概 要	3単元では、思春期から中高年期までの健康問題、また労働と健康の関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみについて学習します。 4単元では、環境・食品と健康との関係を学ぶとともに、私たち一人一人が環境づくりに積極的に参加する意義や方法について学習します。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	<ul style="list-style-type: none"> スクーリングでは、最初に学習の目当てを示します。それを手がかりに、資料・教科書・学習書を参考にして積極的に学習しましょう。 レポートの提出期限を守りましょう。（上記の提出期限を過ぎるとレポート評価は下がります。） レポートの解答に誤りが多い場合、また内容が不十分等の場合には再提出になります。 ・秋季試験はありません。
評 価 方 法	次の3観点により総合的に評価します。 【①知識・技能(定期考査)…80% ②思考力・判断力・表現力(レポート記述問題等の評価)…10% ③主体的に学習に取り組む態度(レポート評価等)…10%】

音楽Ⅰ

【3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅠ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	校歌	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回	6	1	4	21・24	オリエンテーション、校歌 歌唱Ⅰ、器楽：ピアノ①	
2	楽典「大譜表と音名」 歌唱Ⅰ、器楽：ピアノ①	5/22(水)					2	5	12・15	楽典「大譜表と音名」 歌唱Ⅱ、器楽：ピアノ②	
3	楽典「音符・休符」 歌唱Ⅱ、鑑賞Ⅰ	6/ 5(水)					3	5	26・29	楽典「音符・休符」 器楽：ピアノ③	
4	楽典「拍子」 鑑賞Ⅰ	8/28(水)		秋 季	レポート 第4～6回	10	4	6	16・19	鑑賞Ⅰ	
5	楽典「音程」 歌唱Ⅲ、器楽：ギター	9/11(水)					5	8	18・21	楽典「拍子」 鑑賞Ⅰ、器楽：ギター①	
6	楽典「調号・音階」 器楽：ギター	9/25(水)					6	9	1・4	楽典「音程」 歌唱Ⅲ、器楽：ギター②	
7	楽典「和音・音楽用語」 鑑賞Ⅱ	11/20(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	7	9	15・18	楽典「調号・音階」 器楽：ギター③	
8	器楽：箏 鑑賞Ⅲ	12/ 4(水)					8	11	10・13	楽典「和音・音楽用語」 鑑賞Ⅱ、器楽：箏①	
9	楽器の種類と分類	12/18(水)					9	11	24・27	器楽：箏② 鑑賞Ⅲ	
							10	12	8・11	鑑賞Ⅲ	

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。
科目の概要	歌唱、器楽演奏、鑑賞などの実技に加え、音楽の仕組み及び音楽の基礎知識を学習します。
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングでは、レポートを中心に実技を伴いながら学習します。2時間連続のため両方に出席してください。教科書、学習書、参考資料、筆記用具は毎時間必ず持参してください。持参しない場合は出席を認めません。
評価方法	観点別評価 知識・技能＝定期考査(50%)・実技(30%)等を点数化したものをそれぞれ3段階で評価する。 思考力・判断力・表現力＝レポートや定期試験(10%)等。主体的に学習に取り組む態度＝スクーリング中の学習活動の積極性、レポートの提出期限の厳守(10%)等。 定期試験、レポート、スクーリングへの取組状況を含め総合的に評価します。 *レポートの評価は上記の提出期限を過ぎると下がります。

音楽Ⅱ

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	楽典の復習	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回	6	1	4	28・5/1	オリエンテーション 楽典の復習	
2	楽典「音程」① 音楽史：バロック	5/29(水)					2	5	19・22	楽典「音程」① 音楽史：バロック、器楽：ピアノ①	
3	楽典「音程」② 音楽史：古典派	6/19(水)					3	6	9・12	楽典「音程」② 音楽史：古典派、器楽：ピアノ②	
4	楽典「和音」① 鑑賞Ⅰ	9/ 4(水)		秋 季	レポート 第4～6回	10	4	6	23・26	鑑賞Ⅰ	
5	楽典「和音」② 音楽史：ロマン派①②	9/18(水)					5	8	25・28	楽典「和音」① 音楽史：ロマン派①、器楽：ギター①	
6	音楽史：国民楽派 鑑賞Ⅱ	10/ 2(水)					6	9	8・11	楽典「和音」② 音楽史：ロマン派②、国民楽派、器楽：ギター②、鑑賞Ⅱ	
7	音楽史：「近・現代」	11/27(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	7	9	22・25	鑑賞Ⅱ	
8	鑑賞Ⅲ	12/11(水)					8	11	17・20	音楽史：近・現代 創作①	
9	創作課題作品提出	12/18(水)					9	12	1・4	創作② 鑑賞Ⅲ 箏	
10							10	12	15・18	鑑賞Ⅲ	

科目の目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。
科目の概要	歌唱、器楽演奏、鑑賞などの実技に加え、西洋音楽史の流れを追いながら音楽の移り変わりを学習します。 また、楽典の学習をもとに作曲に挑戦し作品を作ります。
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングでは、レポートを中心に実技を伴いながら学習します。2時間連続のため両方に出席してください。 教科書、学習書、参考資料、筆記用具は毎時間必ず持参してください。持参しない場合は出席を認めません。
評価方法	観点別評価 知識・技能＝定期考査(50%)・実技(30%)等を点数化したものをそれぞれ3段階で評価する。 思考力・判断力・表現力＝レポートや定期試験(10%)等。 主体的に学習に取り組む態度＝スクーリング中の学習活動の積極性、レポートの提出期限の厳守(10%)等。 定期試験、レポート、スクーリングへの取組状況を含め総合的に評価します。 *レポートの評価は上記の提出期限を過ぎると下がります。

美術 I

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	素描・レタリング①	5/ 9(木)		夏 季	レポート 第1～3回	6	1	4	21・24	素描・レタリング①	
2	素描・レタリング② 素描・レタリング課題作品提出期限	6/13(木)					2	5	12・15	素描・レタリング②	
3	絵画①	6/13(木)					3	5	26・29	素描・レタリング③	
4	絵画②	8/ 1(木)		秋 季	レポート 第4～6回	10	4	6	16・19	絵画①	
5	絵画③ 絵画課題作品提出期限	9/12(木)					5	8	18・21	絵画②	
6	デザイン・版画①	9/26(木)					6	9	1・4	絵画③	
7	デザイン・版画②	10/31(木)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	7	9	15・18	デザイン・版画①	
8	デザイン・版画③ デザイン・版画課題作品提出期限	11/28(木)					8	11	10・13	デザイン・版画②	
9	鑑賞・美術史	12/ 5(木)					9	11	24・27	デザイン・版画③	
							10	12	8・11	鑑賞・美術史	

科 目 の 目 標	美術の創造的な諸活動を通じて、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
科 目 の 概 要	スクーリングでの課題作品制作（年間3作品）と、それに関わる知識や技術を学ぶためのレポートの両面から学習します。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	補足資料やレポートで予習したうえで、スクーリングに出席してください。課題作品(年間3作品)は、各単元のレポート最終日の締め切りまでに提出し、かつ、合格しておくこと。課題作品の提出の仕方や郵送方法は、スクーリング1、2回目で詳しく説明します。スクーリングは、2時間連続ですので、両方に出席してください。材料費1,000円を集合します。(1年間分)材料費の納入なければ、スクーリングは、受講できません。
評 価 方 法	定期試験、課題作品、レポート、スクーリングへの取組状況を含め総合的に評価します。観点別評価：【知識・技能】は定期試験(50%)、作品点(30%)、【思考・判断・表現】はレポートの記述(10%)、【主体的に学習に取り組む態度】は、レポート、作品提出期限やスクーリングへの出席、態度(10%)などで総合的に評価します。*レポート、作品の評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。課題作品、レポートのすべてが合格しなければ、修得できないので、注意してください。

美術Ⅱ

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	デザイン①	5/ 9(木)		夏 季	レポート 第1～3回	6	1	4	28・5/1	デザイン①	
2	デザイン②	5/30(木)					2	5	19・22	デザイン②	
3	デザイン③ デザイン課題作品提出期限	6/13(木)					3	6	9・12	デザイン③	
4	彫刻①	8/ 1(木)		秋 季	レポート 第4～6回	10	4	6	23・26	彫刻①	
5	彫刻② 彫刻課題作品提出期限	9/19(木)					5	8	25・28	彫刻②	
6	絵画①	9/26(木)					6	9	8・11	彫刻③	
7	絵画②	11/ 7(木)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	7	9	22・25	絵画①	
8	絵画③ 絵画課題作品提出期限	12/ 5(木)					8	11	17・20	絵画②	
9	鑑賞	12/12(木)					9	12	1・4	絵画③	
10							10		15・18	鑑賞	

科 目 の 目 標	美術の創造的な諸活動を通じて、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
科 目 の 概 要	スクーリングでの課題作品制作（年間3作品）と、それに関わる知識や技術を学ぶためのレポートの両面から学習します。
履修上の注意及びアドバイス	補足資料やレポートで予習したうえで、スクーリングに出席して下さい。課題作品(年間3作品)は、各単元のレポート最終日の締め切りまでに提出し、かつ、合格しておくこと。課題作品の提出の仕方や郵送方法は、スクーリング1、2回目です。スクーリングは、2時間連続ですので、両方に出席して下さい。材料費1,000円を収集します。(1年間分)材料費の納入なければ、スクーリングは、受講できません。
評 価 方 法	定期試験、課題作品、レポート、スクーリングへの取組状況を含め総合的に評価します。観点別評価：【知識・技能】は定期試験(50%)、作品点(30%)、【思考・判断・表現】はレポートの記述(10%)、【主体的に学習に取り組む態度】は、レポート、作品提出期限やスクーリングへの出席、態度(10%)などで総合的に評価します。*レポート、作品の評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。課題作品、レポートのすべてが合格しなければ、修得できないので、注意して下さい。

書道 I

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	書写から書道へ	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回	6	1	4	21・24	書写から書道へ 用具・用材・執筆法	
2	漢字の書① 楷書	5/29(水)					2	5	12・15	漢字の書① 楷書の古典臨書	
3	漢字の書② 行書	6/12(水)					3		26・29	漢字の書② 行書の古典臨書	
4	漢字の書③ 草書	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回	10	4	6	16・19	漢字の書③ 草書の古典臨書	
5	漢字の書④ 隷書・篆書	9/ 4(水)					5	8	18・21	漢字の書④ 隷書・篆書の古典臨書	
6	創作 漢字仮名交じりの書	9/18(水)					6	9	1・4	創作 漢字仮名交じりの書①	
7	生活の中の書 仮名の書① 仮名の成立と単体	11/13(水)		7	15・18	創作 漢字仮名交じりの書②					
8	仮名の書② 連綿と古典臨書	11/27(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	8	11	10・13	生活の中の書 仮名の書① 仮名の成立と単体	
9	仮名の書③ 古典臨書	12/11(水)					9		24・27	仮名の書② 連綿と古典臨書	
							10	12	8・11	仮名の書③ 古典臨書	

科 目 の 目 標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
科 目 の 概 要	書の基本から漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書と幅広い書の分野について学習をします。古典の臨書や鑑賞を中心に学習し、創作を通して自己の思考や感動を表現します。
履修上の注意及び アドバイス	上記指導内容の範囲について予習しておきましょう。2時間連続の授業のため、両方に出席してください。また、文化祭や各種公募展にも積極的に挑戦してみましょう。教科書・書道用具・筆記用具は毎時間持参してください。※書道用具《筆〔大小〕・硯・文鎮・下敷き・墨・半紙》は各自で購入し、準備をしておいてください。
評 価 方 法	観点別評価は、知識・技能：80%（定期考査50%・作品等30%）、思考・判断・表現：10%（レポート記述問題の評価）、主体的に学習に取り組む態度：10%（スクーリング取組状況やレポート提出期限等）で評価します。レポートの提出期限を守るようにしてください。

書道Ⅱ

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	漢字の書① 篆書	5/22(水)		夏 季	レポート 第1～3回	6	1	4	28・5/1	漢字の書① 篆書の古典臨書	
2	漢字の書② 隷書	5/29(水)					2	5	19・22	漢字の書② 隷書の古典臨書	
3	漢字の書③ 草書	6/19(水)					3	6	9・12	漢字の書③ 草書の古典臨書	
4	漢字の書④ 行書	8/28(水)		秋 季	レポート 第4～6回	10	4	6	23・26	漢字の書④ 行書の古典臨書	
5	漢字の書⑤ 楷書	9/11(水)					5	8	25・28	漢字の書⑤ 楷書の古典臨書	
6	創作 漢字仮名交じりの書	9/25(水)					6	9	8・11	創作 漢字仮名交じりの書①	
7	仮名の書① 古典臨書	11/20(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	7	9	22・25	創作 漢字仮名交じりの書②	
8	仮名の書② 古典臨書	12/ 4(水)					8	11	17・20	仮名の書① 古典臨書	
9	仮名の書③ 創作	12/18(水)					9	12	1・4	仮名の書② 古典臨書	
							10	12	15・18	仮名の書③ 創作	

科 目 の 目 標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。
科 目 の 概 要	書道全般（漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書）について学習します。古典の鑑賞・臨書を中心に学習し、創作を通して自己の思考や感動を表現します。半紙のみならず、様々なサイズの作品に挑戦します。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	上記指導内容の範囲について予習しておきましょう。2時間連続の授業のため、両方に参加してください。また、文化祭や各種公募展にも積極的に挑戦してみましょう。教科書・書道用具・筆記用具は毎時間持参してください。※書道用具《筆〔大小〕・硯・文鎮・下敷き・墨・半紙》は各自で購入し、準備をしておいてください。
評 価 方 法	観点別評価は、知識・技能：80%（定期考査50%・作品等30%）、思考・判断・表現：10%（レポート記述問題の評価）、主体的に学習に取り組む態度：10%（スクーリング取組状況やレポート提出期限等）で評価します。レポートの提出期限を守るようにしてください。

英語コミュニケーションI 【3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間】

レポート（添削指導）			試験			
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数
1	Lesson 1	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回	4
2	Lesson 2	5/29(水)				
3	Lesson 3	6/12(水)				
4	Lesson 4	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回	8 <small>(夏季・秋季あわせて)</small>
5	Lesson 5	9/4(水)				
6	Lesson 6	9/18(水)				
7	Lesson 7	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	12 <small>(夏季・秋季・年度末あわせて)</small>
8	Lesson 8	11/27(水)				
9	Lesson 9	12/11(水)				

スクーリング I・II（面接指導）					
回	月	日	指導内容		出席確認
1	4	21・24	Pre-Lesson 1 / Pre-Lesson 2		
2		28・5/1	Lesson1		
3	5	12・15	ALTと team teaching		
4		19・22	ALTと team teaching		
5		26・29	Lesson 2		
6	6	9・12	ALTと team teaching		
7		16・19	Lesson 3		
8	8	23・26	Lesson 4		
9		18・21	Lesson 4		
10		25・28	Lesson 5		
11	9	1・4	ALTと team teaching		
12		8・11	Lesson 6		
13		15・18	Lesson 6		
14		22・25	Lesson 7		
15	11	10・13	ALTと team teaching		
16		17・20	Lesson 8		
17		24・27	Lesson 8		
18	12	1・4	ALTと team teaching		
19		8・11	Lesson 9		
20		15・18	Lesson 9		

科目の目標	聞く・読む活動を中心にコミュニケーション能力を高める学習。「使える英語」の習得を目的とする。
科目の概要	中学校英語の復習（橋渡し教材・動詞の活用ルール・基本的なコミュニケーションのルール）・内容読み取り・聞き取り・英語の歌・文法まとめ・本課 Lesson1～9
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングに出席すると、教科書の内容が理解できる、学習書にもチャレンジできる、レポートを仕上げるためのヒントが確実に得られます。
評価方法	スクーリング・レポート・定期試験を「知識・技能」：40%、「思考・判断・表現」：30%、「主体的に学習に取り組む態度」：30%の観点から評価します。

英語コミュニケーションⅡ 【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）					
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認	
1	Lesson 1	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～3回	4	1	4	21・24	Pre-Lesson / Lesson1		
2	Lesson 2	5/29(水)					2	4	28・5/1	Lesson 1		
3	Lesson 3	6/12(水)					3	5	12・15	Lesson 1		
4	Lesson 4	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回	8	4	5	19・22	ALT と team teaching		
5	Lesson 5	9/ 4(水)					5	5	26・29	Lesson 2		
6	Lesson 6	9/18(水)					6	6	9・12	ALT と team teaching		
7	Lesson 7	11/13(水)		年 度 末	レポート 第7～9回	12	7	6	16・19	Lesson 3		
8	Lesson 8	11/27(水)					8	6	23・26	Lesson 4		
9	Lesson 9	12/11(水)					9	8	18・21	Lesson 4		
							10	8	25・28	Lesson 5		
							11	9	1	4	Lesson 5	
							12		8・11	Lesson 6		
							13		15・18	Lesson 6		
							14	9	22・25	Lesson 7		
							15	11	10・13	Lesson 7		
							16		17・20	Lesson 8		
							17		24・27	Lesson 8		
							18	12	1	4	ALT と team teaching	
							19		8・11	Lesson 9		
							20		15・18	Lesson 9		

科 目 の 目 標	聞く・読む活動を中心にコミュニケーション能力をさらに高める学習。「使える英語」の習得を目的とする。
科 目 の 概 要	基本的な中学校英語の復習および英語コミュニケーションⅠの復習（橋渡し教材・基本的なコミュニケーションのルール）・内容読み取り・情報読み取り・英語の歌・文法まとめ・本課 Lesson 1～9
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングに出席すると、教科書の内容が理解できる、学習書にもチャレンジできる、レポートを仕上げるためのヒントが確実に得られます。
評 価 方 法	スクーリング・レポート・定期試験を「知識・技能」：40%、「思考・判断・表現」：30%、「主体的に学習に取り組む態度」：30%の観点から評価します。

論理・表現 I

【 2 単位 レポート提出回数：6 回 必要面接時間数：8 時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I・II（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	Lesson 1 & 2	5/22(水)		夏 季	レポート 第1～2回	4	1	4	21・24	Unit 1&2 Lesson 1	
2	Lesson 3 & 4	6/12(水)					2	4	28・5/1	Unit 1&2 Lesson 2	
							3		12・15	ALT Self-Introduction	
							4	5	19・22	Unit 1&2 Lesson 2	
							5		26・29	Unit 1&2 Lesson 3	
							6		9・12	Unit 1&2 Lesson 4	
							7	6	16・19	Unit 1&2 Lesson 4	
							8		23・26	Unit 1&2 Lesson 5	
3	Lesson 5 & 6	9/11(水)		秋 季	レポート 第3～4回	6 <small>(夏季・秋季あわせて)</small>	9	8	18・21	Unit 1&2 Lesson 5	
4	Lesson 7 & 8	9/25(水)					10	8	25・28	Unit 1&2 Lesson 6	
							11		1・4	ALT Unit 1&2 Lesson 6	
							12	9	8・11	Unit 1&2 Lesson 7	
							13		15・18	Unit 1&2 Lesson 8	
							14		22・25	Unit 1 Lesson 9	
5	Lesson 9 & 10	11/20(水)		年 度 末	レポート 第5～6回	8 <small>(夏季・秋季・年度末あわせて)</small>	15		10・13	ALT Unit 1 Lesson 9	
6	Lesson 11 & 12	12/11(水)					16	11	17・20	Unit 1 Lesson 10	
							17		24・27	Unit 1 Lesson 11	
							18		1・4	Unit 1 Lesson 11	
							19	12	8・11	Unit 1 Lesson 12	
							20		15・18	Unit 1 Lesson 12	

科 目 の 目 標	話す「やり取り・発表」・書く活動を中心に英語での発信力を強化することが目的とする。
科 目 の 概 要	主人公の高校生がアメリカに留学したストーリーを中心に、高校生の日常の場面を通して、コミュニケーションを学ぶ。さまざまな話題について、表現する。
履修上の注意及び ア ド バ イ ス	スクーリングに出席すると、教科書の内容が理解できる、レポートを仕上げるための考え方や書き方のヒントが確実に得られます。
評 価 方 法	スクーリング・レポート・定期試験を「知識・技能」：40%、「思考・判断・表現」：30%、「主体的に学習に取り組む態度」：30%の観点から評価します。

家庭総合 【4単位 レポート提出回数：8回 必要面接時間数：12時間(うち6時間以上は実習で出席)】

レポート(添削指導)			試験			
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数
1	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第10章 持続可能な生活を営む 教科書 P.10～43、P.252～261	5/15(水)		夏	レポート 第1～2回 教科書 P.10～75 P.252～261	4
2	第3章 子どもと共に育つ 教科書 P.44～75	5/29(水)				
3	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 教科書 P.76～103	7/ 3(水)		秋	レポート 第3～5回 教科書 P.76～121 P.230～251	8
4	第9章 経済生活を営む 教科書 P.230～251	7/31(水)				
5	第6章 食生活をつくる 教科書 P.104～121	8/28(水)				
6	第6章 食生活をつくる 教科書 P.122～159	9/25(水)		年度末	レポート 第6～8回 教科書 P.122～229 P.262～267	12
7	第7章 衣生活をつくる 教科書 P.160～201	11/13(水)				
8	第8章 住生活をつくる 第11章 これからの生活を創造する 教科書 P.202～229、P.262～267	12/ 4(水)				

スクーリング I (面接指導)							
回	月	日	指導内容(2講座のため、担当教員を確認してください。)				出席確認
			(A) 担当		(B) 担当		
1	4	21・24	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第10章 持続可能な生活を営む	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第10章 持続可能な生活を営む			
2	5	12・15	第3章 子どもと共に育つ	第3章 子どもと共に育つ			
3		26・29	実習① 保育実習(折り紙実習) 申し込みメ切:5/19(日)PM5時 実習費 50円	実習① 保育実習(折り紙実習) 申し込みメ切:5/19(日)PM5時 実習費 50円			
4	6	16・19	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 第9章 経済生活を営む	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 第9章 経済生活を営む			
5	8	18・21	第6章 食生活をつくる	実習② 食生活実習(調理実習その1) 申し込みメ切:7/28(日)PM5時 実習費300円 持参物:エプロン、三角巾、タオル			
6	9	1・4	実習② 食生活実習(調理実習その1) 申し込みメ切:7/28(日)PM5時 実習費300円 持参物:エプロン、三角巾、タオル	第6章 食生活をつくる			
7		15・18	実習③ 衣生活実習(小物の製作) 申し込みメ切:9/8(日)PM5時 実習費 300円	実習③ 衣生活実習(小物の製作) 申し込みメ切:9/8(日)PM5時 実習費 300円			
8	11	10・13	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる	実習④ 食生活実習(調理実習その2) 申し込みメ切:11/3(日)PM5時 実習費300円 持参物:エプロン、三角巾、タオル			
9		24・27	実習④ 食生活実習(調理実習その2) 申し込みメ切:11/3(日)PM5時 実習費300円 持参物:エプロン、三角巾、タオル	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる			
10	12	8・11	実習⑤ 生活をデザインする 申し込みメ切:11/28(木)PM5時 実習費 350円	実習⑤ 生活をデザインする 申し込みメ切:11/28(木)PM5時 実習費 350円			

科目の目標	生活の営みに関する見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指します。
科目の概要	(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を体験的・総合的に身に付けます。 (2)生涯を見通して課題を解決する力を養います。(3)よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養います。
履修上の注意及びアドバイス	【実習について】●申し込みは、登録番号・氏名・実習日・「家庭総合」と書いた封筒に実習費を入れ、時間厳守で担当教員に申し込んでください。 (期限までに申し込みがなければ実習は受けられません。実習には6時間以上の出席が必要で、視聴票では代替できません) ●2時間連続で出席してください。
評価方法	観点別評価:知識・技能は定期試験(50%)、実技点(30%)、思考・判断・表現はレポートの記述(10%)、主体的に学習に取り組む態度はレポートの提出期限や学ぶ姿勢(10%)を総合的に評価する。

保育基礎 【3単位 レポート提出回数：8回 必要面接時間数：8時間(うち4時間以上は実習で出席)】

レポート(添削指導)			試験			
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数
1	第1章 子どもの保育 教科書 P.5～26	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～2回 教科書 P.5～33 P.46～50	4
2	第2章 子どもの発達 教科書 P.27～33、46～50	5/29(水)				
3	第2章 子どもの発達 教科書 P.34～45	7/ 3(水)		秋 季	レポート 第3～5回 教科書 P.34～45 P.51～96	6
4	第3章 子どもの生活 教科書 P.51～73	7/31(水)				
5	第3章 子どもの生活 教科書 P.74～96	8/28(水)				
6	第4章 子どもの福祉 教科書 P.97～108	9/25(水)		年 度 末	レポート 第6～8回 教科書 P.97～141	8
7	第5章 子どもの文化 教科書 P.109～121	11/13(水)				
8	第5章 子どもの文化 教科書 P.122～141	12/ 4(水)				

スクーリングⅡ(面接指導)				
回	月	日	指導内容	出席確認
1	4	28・5/1	第1章 1. 保育の意義 2. 保育の環境 3. 保育の方法	
2	5	19・22	実習① 子どもの遊び(絵本の読み聞かせなど) 申し込みメ切:5/12(日) PM5時	
3	6	9・12	実習② 乳幼児の食事 持参物:エプロン・三角巾・タオル 申し込みメ切:6/2(日) PM5時 実習費400円	
4		23・26	第2章 1. 子どもの発達の特徴 2. 乳幼児の発育と発達 特集:子どもの発達の様子をみましょう!	
5	8	25・28	第3章 1. 子どもの健康と生活 2. 子どもの食事 3. 子どもの衣服と寝具 4. 子どもの健康と安全	
6	9	8・11	実習③ 幼児のおもちゃ作り 申し込みメ切:9/1(日) PM5時 実習費300円	
7		22・25	実習④ おやつ作り 持参物:エプロン・三角巾・タオル 申し込みメ切:9/15(日) PM5時 実習費400円	
8	11	17・20	第4章 1. 保育にみる児童観 2. 児童福祉の理念と法規・制度	
9	12	1・4	実習⑤ 乳幼児の生活(保育人形をつかって) 申し込みメ切:11/24(日) PM5時	
10		15・18	第5章 1. 子どもの文化の意義 2. 子どもの文化を支える場 3. 子どもと遊び 4. 子どもの表現活動	

科目の目標	保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、技術を習得し、子どもの健全な成長を図る資質・能力を育てる。
科目の概要	(1)子どもの保育 (2)子どもの発達 (3)子どもの生活 (4)子どもの福祉 (5)子どもの文化の5項目について、各項目の相互関連を図り総合的に学習します。
履修上の注意及びアドバイス	視聴票はありません。 【実習について】●申し込みは、登録番号・氏名・実習日・「保育基礎」と書いた封筒に実習費を入れ、時間厳守で担当教員に申し込んでください。 (期限までに申し込みがなければ実習は受けられません。実習には4時間以上の出席が必要です) ●2時間連続で出席してください。 ●実習②④の曜日変更は、実習日の前週水曜日午後5時までに担当教員に申し出てください。
評価方法	観点別評価:知識・技能は定期試験(50%)、実技点(30%)、思考・判断・表現はレポートの記述(10%)、主体的に学習に取り組む態度はレポートの提出期限や学ぶ姿勢(10%)を総合的に評価する。

フードデザイン 【3単位 レポート提出回数：8回 必要面接時間数：8時間（うち4時間以上は実習で出席）】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅡ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	第1章 健康と食生活 教科書 P.5～14 第6章 食育と食育推進活動 教科書 P.129～146	5/15(水)		夏 季	レポート 第1～2回 教科書 P. 5～29 P.129～146	4	1	4	28・5/1	第1章 健康と食生活 第6章 食育と食育推進活動	
2	第2章 栄養素と食品 1、2節 教科書 P.15～29	5/29(水)					2	5	19・22	実習① 日本料理 申し込みメ切：5/12(日) PM5時 実習費 400円 持参物：エプロン・三角巾・タオル	
3	第2章 栄養素と食品 2、4節 教科書 P.30～35、P.64～74	7/ 3(水)		秋 季	レポート 第3～5回 教科書 P.30～88	6	3	6	9・12	第2章 栄養素と食品 1節 栄養素と消化・吸収 2節 各栄養素のはたらき	
4	第2章 栄養素と食品 3節 教科書 P.36～63	7/31(水)					4	6	23・26	実習② 西洋料理 申し込みメ切：6/16(日) PM5時 実習費 400円 持参物：エプロン・三角巾・タオル	
5	第3章 食品の選択と取り扱い 教科書 P.75～88	8/28(水)					5	8	25・28	第2章 栄養素と食品 3節 食品とその特徴 4節 何をどれだけ食べる？	
6	第4章 調理してみよう 教科書 P.89～102	9/25(水)		年 度 末	レポート 第6～8回 教科書 P. 89～128 P.147～241 巻頭カラー P.3～4	8	6	9	8・11	実習③ 中国料理 申し込みメ切：9/1(日) PM5時 実習費 400円 持参物：エプロン・三角巾・タオル	
7	第5章 各国料理とコーディネート 教科書 P.103～128	11/13(水)					7	9	22・25	第3章 食品の選択と取り扱い 第4章 調理してみよう	
8	実践編 献立と調理 教科書 P.147～241 年中行事と行事食 巻頭カラー P.3～4	12/ 4(水)					8	11	17・20	実習④ 行事食・郷土料理 申し込みメ切：11/10(日) PM5時 実習費 400円 持参物：エプロン・三角巾・タオル	
							9	12	1・4	実習⑤ テーブルコーディネート実習 申し込みメ切：11/24(日) PM5時 実習費 500円 持参物：エプロン・三角巾・タオル	
							10		15・18	第5章 各国料理とコーディネート	

科目の目標	栄養、食品、献立、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解し、技術を身に付ける。食生活を総合的にデザインする態度を育てる。
科目の概要	(1) 健康と食生活 (2) フードデザインの構成要素 (3) フードデザイン実習 (4) 食育と食育推進活動の4項目について、各項目の相互関連を図り総合的に学習します。
履修上の注意及びアドバイス	視聴票はありません。 【実習について】 ● 申し込みは、登録番号・氏名・実習日・「フードデザイン」と書いた封筒に実習費を入れ、時間厳守で担当教員に申し込んでください。 (期限までに申し込みがなければ実習は受けられません。実習には4時間以上の出席が必要です) ● 2時間連続で出席してください。 ● 実習の曜日変更は、実習日の前週水曜日午後5時までに担当教員に申し出てください。
評価方法	観点別評価：知識・技能は定期試験(50%)、実技点(30%)、思考・判断・表現はレポートの記述(10%)、主体的に学習に取り組む態度はレポートの提出期限や学ぶ姿勢(10%)を総合的に評価する。

情報 I

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：6時間 】

レポート (添削指導)				試験			スクーリング I・II (面接指導)				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	1章 情報で問題を解決する 教科書 P.6～15、P.26～32	5/1(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.6～60	2	1	4	21・24 28・5/1	文字と文章の入力 マウスの操作、タッチメソッドでのローマ字入力、文節変換、ファンクションキーによる変換、記号入力、IMEパッドを利用した入力等	
2	1章 情報で問題を解決する 教科書 P.16～32	5/22(水)					2	5	12・15 19・22	文書の作成	
3	2章 情報を伝える 教科書 P.33～43、P.54～60	6/12(水)					3	6	26・29 9・12 16・19 23・26	例題を作成し Word の基本的な編集機能を学習する コンピュータとソフトウェアの仕組み コンピュータの5大装置やソフトウェアの仕組み	
4	2章 情報を伝える 教科書 P.44～60	7/17(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.44～88	4	4	8	18・21 25・28	プログラミング実習 Python を使った実習	
5	3章 コンピュータを活用する 教科書 P.61～69、P.82～88	8/28(水)					5	9	1・4 8・11 15・18 22・25	インターネットの仕組み 情報セキュリティ	
6	3章 コンピュータを活用する 教科書 P.70～88	9/25(水)					6	11	10・13 17・20 24・27	データベースの活用 画像を活用した文書の作成	
7	4章 データを活用する 教科書 P.89～99、P.110～116	10/23(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.89～167	6	7	12	1・4 8・11 15・18	プレゼンテーションの作成 PowerPoint を使った技法	
8	4章 データを活用する 教科書 P.100～116	11/20(水)					8				
9	5章 活動して提案する 教科書 P.118～203	12/11(水)					9				

科目の目標	情報化社会が進展していく中で、情報や情報機器を活用する技能を身に付けるために、基礎的なことから体系的に学習します。
科目の概要	ビジネス界ではパソコンなどの情報機器は必須の時代です。現在では、ほぼすべての仕事にパソコン活用能力が必要とされています。レポートでは教科書に沿って情報通信ネットワークや情報モラル、セキュリティなどを学習します。スクーリングでは主にタッチタイピングから Word(ワープロ)の実務的活用を実習します。
履修上の注意及びアドバイス	パソコンが苦手な人、初めての人でもローマ字入力から指導します。ワードの便利機能を覚えれば使い勝手が非常に良くなります。PowerPoint、Python も学習します。必要時間数は6時間ですが、できるだけ多くスクーリングに出席すれば技術は格段に上達します。
評価方法	観点別評価：知識・技能は定期試験(60%)、思考・判断・表現はレポートの記述問題などの対応する内容(10%)、主体的に学習に取り組む態度はレポートの提出期限やスクーリングの態度(30%)を総合的に評価する。レポートは提出期限を過ぎると評価だけでなく点数も下がります。

情報の表現と管理

【 3単位 レポート提出回数：9回 必要面接時間数：6時間】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I・II（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	メディアと情報の表現 情報社会における情報の表現 教科書 P.5～17	5/1(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.5～63	2	1	4	21・24	Wordの基本操作 Excelの基礎知識・基本操作	
2	文字・図解による表現 音による表現 教科書 P.18～39	5/22(水)					2	4	28・5/1		
3	静止画による表現 教科書 P.40～63	6/12(水)					3	5	12・15		
4	静止画による表現 動画による表現 教科書 P.64～85	7/17(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.64～142	4	4	5	19・22	フォトタッチ機能を使った画像編集	
5	データサイエンスとデータの表現 教科書 P.86～113	8/28(水)					5	6	26・29		
6	情報発信 コミュニケーションの基礎 教科書 P.114～142	9/25(水)					6	6	9・12		
7	情報の管理とドキュメンテーション コンピュータによる情報の管理と活用 教科書 P.143～167	10/23(水)		年 度 末	レポート 第7～9回 教科書 P.5～189	6	7	6	16・19	Excelを使ったグラフの作成 グラフの基礎知識	
8	情報の保護とセキュリティ 教科書 P.168～182	11/20(水)					8	8	23・26		
9	1年間のまとめ 教科書 P.5～189	12/11(水)					9	8	18・21		
							10	8	25・28	プレゼンテーションの作成 (PowerPointを使った技法)	
							11	9	1・4		
							12	9	8・11		
							13	9	15・18	Excelの関数を使った発展課題	
							14	9	22・25		
							15	10	10・13		
							16	11	17・20	WordとExcelを連携した効果的な文書の作成	
							17	11	24・27		
							18	12	1・4		
							19	12	8・11		
							20	12	15・18		

科 目 の 目 標	高度情報社会の中で生活するための知識や技術を体系的に学習します。
科 目 の 概 要	情報を活用する能力や態度、そして実践力を養うために、学習を座学で終わらせることなく、総授業時数の2分の1以上を実習の時間にあて学習を行います。
履修上の注意及びアドバイス	エクセルは初めての人や苦手な人でも無理なくテクニックが身に付くよう基本から指導します。エクセルといえば「関数」です。「こんなことをしたいのだが、どんな関数を使ったらいいかわからない」というよくある課題を解決するために、スクーリングでは日常的によく使われる関数を具体的な実習課題を通して学習していきます。他にはフォトタッチ機能、PowerPointも学習します。必面時間数は6時間ですが、できるだけ継続してスクーリングに出席することが上達の秘訣です。視聴票はありません。
評 価 方 法	観点別評価：知識・技能は定期試験(60%)、思考・判断・表現はレポートの記述問題などの対応する内容(10%)、主体的に学習に取り組む態度はレポートの提出期限やスクーリングの態度(30%)を総合的に評価する。レポートは提出期限を過ぎると評価だけでなく点数も下がります。

ビジネス基礎

【 4単位 レポート提出回数：8回 必要面接時間数：8時間 】

レポート（添削指導）				試 験			スクーリング I・II（面接指導）				
回	範 囲	提出期限	提出確認	定期試験	範 囲	必要面接時間数	回	月	日	指 導 内 容	出席確認
1	第1章 商業の学習とビジネス 教科書 P.7～34	5/ 8(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.7～105	3	1	4	21・24	第1章 商業の学習とビジネス	
2	第2章 ビジネスとコミュニケーション 第3章 経済と流通の基礎① 教科書 P.35～64	5/22(水)					2	4	28・5/1	第2章 ビジネスとコミュニケーション①	
3	第3章 経済と流通の基礎② 第4章 さまざまなビジネス①② 教科書 P.65～105	6/12(水)					3	5	12・15	第2章 ビジネスとコミュニケーション②	
4	第4章 さまざまなビジネス③ 第5章 企業活動の基礎① 教科書 P.106～125	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.106～171	6	4	5	19・22	第3章 経済と流通の基礎①	
5	第5章 企業活動の基礎② 第6章 ビジネスと売買取引①② 教科書 P.126～158	9/ 4(水)					5	5	26・29	第3章 経済と流通の基礎②	
6	第7章 ビジネス計算①② 教科書 P.159～171	9/18(水)					6	6	9・12	第4章 さまざまなビジネス①	
7	第7章 ビジネス計算③④⑤ 教科書 P.172～186	11/20(水)		年 度 末	レポート 第7～8回 教科書 P.172～195	8	7	6	16・19	第4章 さまざまなビジネス②	
8	第8章 身近な地域のビジネス 教科書 P.187～195	12/11(水)					8	6	23・26	第4章 さまざまなビジネス③・夏季試験について	
							9	8	18・21	第5章 企業活動の基礎①	
							10	8	25・28	第5章 企業活動の基礎②	
							11	9	1・4	第6章 ビジネスと売買取引①	
							12	9	8・11	第6章 ビジネスと売買取引②	
							13	9	15・18	第7章 ビジネス計算①	
							14	9	22・25	第7章 ビジネス計算②・秋季試験について	
							15	11	10・13	第7章 ビジネス計算③	
							16	11	17・20	第7章 ビジネス計算④	
							17	11	24・27	第7章 ビジネス計算⑤	
							18	12	1・4	第8章 身近な地域のビジネス①	
							19	12	8・11	第8章 身近な地域のビジネス②	
							20	12	15・18	ビジネス計算の復習と応用・年度末試験について	

科 目 の 目 標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的資質・能力の育成を目指す。
科 目 の 概 要	私たちの消費生活を支えている企業の活動や経済の仕組み、そして、ビジネスとは何かといったことを身近な例を交えて学習していきます。また、生活していくうえでの計算能力やコミュニケーション能力を高める学習も行います。
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングでは、スライドやプリントを用いて教科書全般を学習します。上記指導内容の範囲について、教科書で事前に学習しておきましょう。また、「第7章 ビジネス計算」では電卓の操作についても学習しますので電卓の用意をお願いします。授業、レポート、テストでも用います。スクーリングについては、余裕をもち必要面接時間数を満たせるよう計画的に出席しましょう。
評 価 方 法	観点別の評価の内訳：知識・技能は定期試験(80%)、思考・判断・表現はレポートの内容(15%)、主体的に学習に取り組む態度はスクーリングへの取組・出席状況(5%)から総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。スクーリングへの出席も評価に反映します。

マーケティング 【4単位 レポート提出回数：8回 必要面接時間数：8時間】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	第1章 マーケティングの概要 第2章 消費者行動の理解 教科書 P.6～43	5/8(水)		夏	レポート 第1～3回 教科書 P.6～74	3	1	4	21・24	第1章 マーケティングの概要①	
							2	4	28・5/1	第1章 マーケティングの概要②	
							3	5	12・15	第2章 消費者行動の理解①	
2	第3章 市場調査 教科書 P.44～61	5/22(水)		夏	レポート 第1～3回 教科書 P.6～74	3	4	5	19・22	第2章 消費者行動の理解②	
							5	5	26・29	第3章 市場調査①	
3	第4章 STP 教科書 P.62～75	6/12(水)		夏	レポート 第1～3回 教科書 P.6～74	3	6	6	9・12	第3章 市場調査②	
4	第5章 製品政策 教科書 P.76～97	8/21(水)		秋	レポート 第4～6回 教科書 P.76～129	6	6	6	16・19	第4章 STP①	
							7	6	23・26	第4章 STP②・夏季試験について	
5	第6章 価格政策 教科書 P.98～113	9/4(水)		秋	レポート 第4～6回 教科書 P.76～129	6	9	8	18・21	第5章 製品政策①	
							10	8	25・28	第5章 製品政策②	
6	第7章 チャネル政策 教科書 P.114～129	9/18(水)		秋	レポート 第4～6回 教科書 P.76～129	6	11	9	1・4	第6章 価格政策①	
							12	9	8・11	第6章 価格政策②	
7	第8章 プロモーション政策 教科書 P.130～159	11/20(水)		年度末	レポート 第7～8回 教科書 P.130～183	8	13	9	15・18	第7章 チャネル政策①	
							14	9	22・25	第7章 チャネル政策②・秋季試験について	
8	第9章 マーケティングのひろがり 教科書 P.160～183	12/11(水)		年度末	レポート 第7～8回 教科書 P.130～183	8	15	11	10・13	第8章 プロモーション政策①	
							16	11	17・20	第8章 プロモーション政策②	
8	第9章 マーケティングのひろがり 教科書 P.160～183	12/11(水)		年度末	レポート 第7～8回 教科書 P.130～183	8	17	11	24・27	第8章 プロモーション政策③	
							18	12	1・4	第9章 マーケティングのひろがり①	
							19	12	8・11	第9章 マーケティングのひろがり②	
							20		15・18	復習・年度末試験について	

科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、マーケティングに必要な資質・能力の育成を目指す。
科目の概要	ビジネスでは消費者のニーズを満たす商品やサービスの提供だけでなく、消費者に選んでもらえるための活動などが必要です。それらの活動は病院や学校などでも対外的に行われています。この授業では、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を学んでいきます。
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングでは、講義とレジュメを中心に教科書全般を学習します。講義では、経済社会にあつて企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例などを紹介していきます。積極的に出席し、余裕をもち必要面接数を満たせるよう計画的に取り組んでください。
評価方法	観点別の評価の内訳：知識・技能は定期試験(80%)、思考・判断・表現はレポートの内容(15%)、主体的に学習に取り組む態度はスクーリングへの取組・出席状況(5%)から総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。スクーリングへの出席も評価に反映します。

簿記

【 4単位 レポート提出回数：8回 必要面接時間数：12時間 】

レポート（添削指導）				試験			スクーリングⅠ・Ⅱ（面接指導）				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	月	日	指導内容	出席確認	
1	第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 損益・費用と損益計算書 教科書 P.2～21	5/22(水)		夏 季	レポート 第1～3回 教科書 P.2～78	6	1	4	21・24 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書		
2	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 教科書 P.22～49	5/22(水)					2	28・5/1 第4章 取引と勘定			
3	第7章 試算表 第8章 精算表 第9章 決算 教科書 P.50～78	6/12(水)					3	12・15 第5章 仕訳と転記			
4	第11章 現金と預金の取引 第12章 商品売買の取引 第13章 掛け取引 教科書 P.84～135	8/21(水)		秋 季	レポート 第4～6回 教科書 P.84～204	9	4	5	19・22 第6章 仕訳帳と総勘定元帳		
5	第14章 手形 第15章 有価証券の取引 第16章 その他の債権債務 教科書 P.136～178	9/4(水)					5	26・29 第7章 試算表			
6	第17章 固定資産の取引 第18章 販売費及び一般管理費 第19章 純資産の取引と事業主個人の税金 第20章 個人企業の税金 教科書 P.179～204	9/18(水)					6	9・12 第8章 精算表（6桁）			
7	第21章 決算整理（その1） 第22章 8桁精算表 教科書 P.206～227	11/20(水)		年 度 末	レポート 第7～8回 教科書 P.206～227 P.258～288	12	7	6	16・19 第9章 決算		
8	第25章 決算整理（その2） 第26章 精算表と財務諸表の作成 教科書 P.258～288	12/11(水)					8	23・26 夏季スクーリングまでの復習			
							9	18・21 第11章 現金・預金などの取引 第12章 商品売買の記帳 25・28 第13章 掛け取引 第14章 手形 第15章 有価証券の取引			
							10	8	1・4 第16章 その他の債権債務の取引		
							11	9	8・11 第17章 固定資産の取引 第18章 販売費及び一般管理費		
							12	9	15・18 第19章 純資産の取引と事業主個人の税金 第20章 個人企業の税金		
							13	9	22・25 秋季スクーリングまでの復習		
							14	9	10・13 第21章 決算整理（その1）		
							15	11	17・20 第22章 8桁精算表		
							16	11	24・27 第25章 決算整理（その2）		
							17	11	1・4 第26章 精算表の作成		
							18	12	8・11 第26章 財務諸表の作成		
							19	12	15・18 1年間の復習		
							20	12			

科目の目標	簿記に関する知識と技術を習得し、その基本的な仕組みについて理解するとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
科目の概要	企業において日常発生する取引を記録し、ビジネスの姿を数字でとらえるのが簿記です。授業では、演習問題を通じて、取引を分析、計算、記録する学習を行います。 (1) 簿記の基礎 (2) 取引の処理 (3) 決算 について学びます。
履修上の注意及びアドバイス	スクーリングでは、プリント・教科書での学習になります。必ず、定規・電卓・赤ペンを毎時間持参してください。授業では、日常発生する取引を合理的・能率的に記帳する知識と技術を演習を通じて学びます。簿記は、実際に計算し、書くという作業がとても重要で、反復しながら身に付けていく科目です。また、必要面接時間を満たすだけでは、理解が難しい科目でもあります。毎時間の出席があつてこそ、簿記の仕組みが分かり、簿記の重要性も理解できます。
評価方法	観点別の評価の内訳：知識・技能は定期試験(80%)、思考・判断・表現はレポートの内容(15%)、主体的に学習に取り組む態度はスクーリングへの取組・出席状況(5%)から総合的に評価します。*レポートの評価は、上記の提出期限を過ぎると下がります。スクーリングへの出席も評価に反映します。

総合的な探究の時間(人生設計) 【3単位 レポート提出回数：6回 必要面接時間数：3時間】

レポート(添削指導)				試験			スクーリングⅠ(面接指導)				
回	範囲	提出期限	提出確認	定期試験	範囲	必要面接時間数	回	月	日	指導内容	出席確認
1	第1回レポート 自己理解① (客観的に自己を知る)	5/15(水)		夏 季	試験はありません。 レポートの最終 締切は他教科と 同じです。 スクーリングの 出席補充はでき ません。	1	1	4	21・24	総合探究ガイダンス、進路面談(ホーム主任面談)	
2	第2回レポート 自己理解② (他者から見た自己を知る)	5/29(水)					2	5	12・15	県内の専門学校によるブース形式の説明会	
3	第3回レポート 面接シートを作る (進路アンケートあり)	8/21(水)		秋 季	同 上	2	3	26・29	自分を知る(職業レジネステスト)		
4	第4回レポート 履歴書を書く	9/18(水)					4	6	16・19	進路ガイダンス(就職・進学別ガイダンス)	
5	第5回レポート 一般教養に挑戦	11/20(水)		年 度 末	同 上	3	5	8	18・21	進路面談(ホーム主任面談)	
6	第6回レポート 人生設計を考える	12/ 4(水)					6	9	1・4	面接の基本を覚えよう	
							7		15・18	履歴書の書き方をマスターしよう	
							8	11	10・13	一般教養に挑戦しよう	
							9		24・27	人生設計を考える(外部講師による講演)	
							10	12	8・11	進路面談(ホーム主任面談)と管理職講話	

科目の目標	人生設計：卒業後の進路や将来の生き方について、各自が主体的に判断し取り組む。
科目の概要	進学・就職に関する情報提供や、ホーム主任との面談、外部講師による講演等を行います。
履修上の注意及びアドバイス	レポートの提出は期限を守り、スクーリングの出席は自分の進路に照らし合わせて、計画的に出席すること。総合学習(人生設計)は必修科目であり、単位が取れないと卒業できません。スクーリングは、視聴票による補充はできません。スクーリングとレポートで単位が取得できますので、スクーリング中に私語や関係のない行動等がないようにしてください。
評価方法	レポートがすべて期限までに合格し、必回数以上の出席がある場合、合格となり単位が認定される。

※ 鉛筆書きは不可。

受付印

教務主任	試験係

令和 年 月 日

登録番号 _____

生徒氏名 _____

T 3 受験願

私は、次の理由により T 3 での受験を申し込みます。

1. 理由 (該当項目を○で囲む)

ア. 病気 (試験当日に病気等であることが証明できる、次のいずれかを添付)

- ① 診断書
- ② 病院名のある領収書と病院または院外薬局の薬袋

イ. 勤務 (裏面の証明が必要)

ウ. その他 ()

2. 提出した「試験申込書」の時間割 (曜日変更をしている場合は変更した試験月日を記入)

※ T 1 ~ T 2 のうち、T 3 受験を希望する試験月日と時間割を記入

	試験月日	科目				
		1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
T 1	月 日 曜					
T 2	月 日 曜					

3. T 3 受験の申し込み時間割 ※希望する試験月日と科目を記入 (希望の時限で申し込み可)

	試験月日	科目				
		1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
T 3	月 日 日曜					
	月 日 水曜					

※ T 3 受験願は、日曜日受験は前週木曜日午後 5 時まで、水曜日受験は前日火曜日午後 5 時まで提出し、承認を受けること。

勤務による定期試験欠席理由証明書

高知県立高知北高等学校通信制

氏 名

うえの者は、下記の日勤務することを証明します。

記

勤務する日 令和 年 月 日

証明書発行日 令和 年 月 日

事業所名

(ゴム印)

住 所

電話番号

代表者名



※確認のため、学校から問い合わせる場合がありますのでご了承ください。

学 習 の 記 録

科目	レポート (上段・評価、下段・受付月日)												スクーリング (出席月日)				試験			特別活動					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					夏季	秋季	年度末	SHR	掃除	スII7限	学校行事等		
【記入例】 評価 言語文化 受付日	5	4	5										4/24	5/1	5/15				81			4/24	4/24	5/1	
	5/8	5/15	6/5																			5/15	5/1	5/22	

レポート提出期限一覧表

教科 科目	国語			地理歴史			公民			数学			理科					保健体育					芸術					外国語		家庭		情報		商業		簿記	人生設計	最終締切								
	現代の国語	言語文化	論理国語	古典探究	地理総合	歴史総合	日本史探究	公民	倫理	政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	科学と人間生活	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	化学	物理	保健	体育3-1	体育3-2	体育3-3	音楽Ⅰ	音楽Ⅱ	美術Ⅰ	美術Ⅱ	書道Ⅰ	書道Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅰ	家庭総合	保育基礎				フードデザイン	情報の表現と管理	情報の表現と管理	ビジネス基礎	マーケティング			
1	5/15	5/22	5/15	5/15	5/8	5/8	5/8	5/8	5/8	5/8	5/15	5/8	5/15	5/15	5/15	5/15	5/15	5/15	5/15	5/16	5/16	5/16	5/16	5/16	5/8	5/15	5/9	5/9	5/15	5/22	5/15	5/15	5/15	5/1	5/1	5/8	5/8	5/22	5/22	5/15	5/15	夏季 6/20				
2	6/5	5/29	5/15	5/29	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/29	5/22	5/29	5/29	5/29	5/29	5/29	5/29	5/22	11/21	11/21	11/21	9/26	9/26	9/26	5/22	5/29	6/13	5/30	5/29	5/29	5/29	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22	5/29	5/29	10/3		
3	8/28	6/12	5/29	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/26	6/12	6/26	6/12	6/19	6/19	6/19	6/12	6/19	6/19				11/21	11/21	11/21	6/5	6/19	6/13	6/13	6/12	6/19	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/12	6/21	6/21	秋季 10/3		
4	9/18	8/21	6/12	8/28	8/21	8/21	8/21	8/28	8/21	8/21	8/26	8/21	7/24	7/24	7/24	7/24	7/24	7/19							8/28	9/4	8/1	8/1	8/21	8/28	8/21	8/21	9/25	7/31	7/31	7/31	7/17	7/17	8/21	8/21	8/21	8/21	9/18	9/18	年度末 12/20	
5	11/20	9/11	7/28	9/11	9/4	9/11	9/11	9/11	9/11	9/11	8/21	9/4	9/4	9/11	9/11	9/11	9/4	9/24							9/11	9/18	9/12	9/19	9/4	9/11	9/4	9/4	11/20	8/28	8/28	8/28	8/28	8/28	9/4	9/4	9/4	9/4	11/20	11/20		
6	12/11	9/25	8/21	9/25	9/18	9/25	9/25	9/25	9/25	9/25	8/21	9/18	9/18	9/25	9/25	9/25	9/18	9/28							9/25	10/2	9/26	9/26	9/18	9/25	9/18	9/18	12/11	9/25	9/25	9/25	9/25	9/25	9/18	9/18	9/18	9/18	12/4	12/4		
7		11/13	9/4	11/13	10/30	11/6	11/6	10/30	11/6	11/6	11/20	9/4	11/13	10/30	11/13	11/13	11/6	9/11							11/20	11/27	10/31	11/7	11/13	11/20	11/13	11/13		11/13	11/13	11/13	10/23	10/23	11/20	11/20	11/20					
8		11/27	9/18	11/27	11/20	11/27	11/27	11/20	11/27	11/27	12/11	9/18	11/27	11/6	11/27	11/27	12/4	11/27							12/4	12/11	11/28	12/5	11/27	12/4	12/27	11/27		12/4	12/4	12/4	11/20	11/20	12/11	12/11	12/11	12/11				
9		12/11	10/30	12/11	12/11	12/11	12/11	12/11	12/11	12/18	11/13	12/11	12/11	12/11	12/11	12/11	12/11	11/13							12/18	12/18	12/5	12/12	12/11	12/18	12/11	12/11				12/11	12/11									
10			11/13								11/27							11/27																												
11			11/27								12/4							12/11																												
12			12/11								12/18							12/18																												

試験範囲 レポートは締切日に遅れないように提出しましょう。

夏季 (最終締切日 6月20日)
 秋季 (最終締切日 10月3日)
 年度末 (最終締切日 12月20日)

受験資格一覧表

教科	科目	単位数	必履修	レポート			必要面接時間数			視聴票上限数
				夏季	秋季	年度末	夏季	秋季	年度末	
国語	現代の国語	2	*	2	4	6	1	1	2	1
	言語文化	3	*	3	6	9	1	2	3	1
	論理国語	4		4	8	12	2	3	4	2
	古典探究	3		3	6	9	1	2	3	1
地理歴史	地理総合	3	*	3	6	9	1	2	3	1
	歴史総合	3	*	3	6	9	1	2	3	1
	日本史探究	3		3	6	9	1	2	3	1
公民	公共	3	*	3	6	9	1	2	3	1
	倫理	3		3	6	9	1	2	3	1
	政治・経済	3		3	6	9	1	2	3	1
数学	数学Ⅰ	3	*	2	6	9	1	2	3	1
	数学Ⅱ	4		3	8	12	2	3	4	2
	数学A	3		2	6	9	1	2	3	1
理科	科学と人間生活	3	(*)	3	6	9	4	8	12	7
	物理基礎	3	(*)	3	6	9	4	8	12	7
	化学基礎	3	(*)	3	6	9	4	8	12	7
	生物基礎	3	(*)	3	6	9	4	8	12	7
	地学基礎	3	(*)	3	6	9	4	8	12	7
	化学	4		4	8	12	6	11	16	視聴票なし
保健体育	体育1	2	*	1	/	2	3	/	10	4
	体育2	2	*	1	/	2	3	/	10	4
	体育3-2	2	(*)	1	/	2	3	/	10	4
	体育3-3	3	(*)	1	/	3	4	/	15	6
	保健1	1	*	1	/	3	0	/	1	視聴票なし
	保健2	1	*	1	/	3	0	/	1	視聴票なし
芸術	音楽Ⅰ	3	(*)	3	6	9	6	10	12	7
	音楽Ⅱ	3		3	6	9	6	10	12	視聴票なし
	美術Ⅰ	3	(*)	3	6	9	6	10	12	4
	美術Ⅱ	3		3	6	9	6	10	12	視聴票なし
	書道Ⅰ	3	(*)	3	6	9	6	10	12	4
	書道Ⅱ	3		3	6	9	6	10	12	視聴票なし
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	*	3	6	9	4	8	12	7
	英語コミュニケーションⅡ	3		3	6	9	4	8	12	7
	論理・表現Ⅰ	2		2	4	6	4	6	8	視聴票なし
家庭	家庭総合	4	*	2	5	8	4	8	12	4
	保育基礎	3		2	5	8	4	6	8	視聴票なし
	フードデザイン	3		2	5	8	4	6	8	視聴票なし
情報	情報Ⅰ	3	*	3	6	9	2	4	6	3
	情報の表現と管理	3		3	6	9	2	4	6	視聴票なし
商業	ビジネス基礎	4		3	6	8	3	6	8	4
	マーケティング	4		3	6	8	3	6	8	視聴票なし
	簿記	4		3	6	8	6	9	12	7
総合的な探究の時間	人生設計	3	*	2	4	6	1	2	3	視聴票なし

- ・ レポート…………… レポート回数
 - ・ 視聴票上限数……… 必要面接時間数のうち視聴票の合格で出席を免除できる上限回数
 - ・ 必履修…………… すべての生徒が学習しなければならない科目
- *は必履修科目、(*)は選択可能な必履修科目
- 注) 選択可能な必履修科目について
- | | |
|---|----------------------------------------|
| { | 理科は「科学と人間生活」を含む2科目、または基礎を付した科目より3科目を選択 |
| { | 芸術は「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」より1科目を選択 |

令和6年度 生徒必携(追加事項)

○レポートに関して

レポートは**1枚ずつ送付**します。

[年度当初は、体育・保健(1枚)以外は2枚送付]

レポートは**送付された順番**に取組む。

同じ科目のレポートを一度に何枚も提出することはできません。

○追試験の範囲

1年間のレポートです。

レポートは年度末まで保管しましょう。

● レポート提出について

➤ レポート締切日を守ることは、とても大切です。

学習を継続し、単位を修得するため

将来のキャリアで役立つ力を身に付けるため

(自己管理能力、自分のやるべきことについて責任をもつ、時間を守るなど)

通信制の学習は、スクーリングへの出席とレポートの提出が中心です。

学習内容をよりよく理解して単位を修得するために、**レポートは1枚ずつ提出**してください。

学習が継続できるよう各科目担当の先生と相談しながらレポート提出を進めましょう。

➤ 同じ科目のレポートを**何枚もまとめて提出することはできません。**

来年度(令和7年度)からレポート最終締め切り日の提出は、各科目1枚のみとする予定です。

➤ **継続生**のみなさんへ

定期考査前に未送付のレポートがあっても、

レポートを北高通信と一緒に送付しません。

各科目担当から1枚ずつ受け取ってください。

● 追試験について

- 評定が「1」となった科目は、申込をすれば追試験を受験することができます。合格することができるように該当科目の先生に相談して十分に学習をしてから受験をしてください。